

Pioneer *sound.vision.soul*

MDLP



MD/CD/チューナー・WMA/MP3/WAV対応・
DSPメインユニット

FH-P077MD

取扱説明書

目次 4ページ

carrozeria

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意 (警告を含む) しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止 (やってはいけないこと) の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

警告

[異常時の処置]

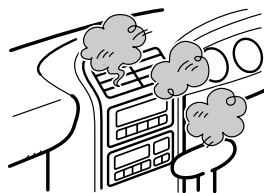
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

目次

はじめに

はじめに

- | | | |
|---|---------------------------|----|
| 1 | 各部のなまえ | 8 |
| 2 | 本機の操作の基本 | 10 |
| 3 | ご使用になる前に
「CD TEXT」について | 12 |
| 4 | 本機のリセットについて | 14 |
| 5 | リモコンの準備 | 14 |
| 6 | 付属リモコンでの操作について | 15 |

ここので

ここので読めばすぐ使えます

- | | | |
|---|--|----|
| 1 | 聞きたいソース (音源) を選ぶ
電源を切る | 16 |
| 2 | CD のふだんの操作
CD を再生する
曲を選ぶ
早送り/早戻しをする
音量を調節する
CD を取り出す | 18 |
| 3 | WMA/MP3/WAV のふだんの操作
CD-ROM を再生する
フォルダーを選ぶ
曲を選ぶ
早送り/早戻しをする
音量を調節する
CD-ROM を取り出す | 20 |
| 4 | MD のふだんの操作
MD を再生する
グループを選ぶ
曲を選ぶ
早送り/早戻しをする
音量を調節する
MD を取り出す | 22 |
| 5 | ラジオのふだんの操作
バンドを選ぶ
放送局を選ぶ
音量を調節する | 24 |
| 6 | マルチ CD のふだんの操作
CD を選ぶ
曲を選ぶ
早送り/早戻しをする
音量を調節する | 26 |

内蔵 CD

内蔵 CD で CD を聞く

- | | | |
|----|------------------|----|
| 1 | 聞きたい曲を直接選ぶ | 28 |
| 2 | モードの切り換えかた | 29 |
| 3 | 同じ曲を繰り返し聞く | 30 |
| 4 | いつもと違う曲順で聞く | 31 |
| 5 | 聞きたい曲をさがす | 32 |
| 6 | CD 再生を一時停止する | 33 |
| 7 | 選曲方法を切り換える | 33 |
| 8 | 10 曲飛びに選曲する | 34 |
| 9 | CD のタイトルなどを表示させる | 34 |
| 10 | CD の音質を調節する | 35 |

WMA/
MP3/WAV

WMA/MP3/WAV を聞く

- | | | |
|----|-------------------------------|----|
| 1 | 聞きたい曲を直接選ぶ | 36 |
| 2 | モードの切り換えかた | 37 |
| 3 | 同じ曲やフォルダーを繰り返し聞く | 38 |
| 4 | いつもと違う曲順で聞く | 39 |
| 5 | 聞きたい曲やフォルダーをさがす | 40 |
| 6 | WMA/MP3/WAV 再生を一時停止する | 41 |
| 7 | 選曲方法を切り換える | 42 |
| 8 | フォルダー内の曲を
10 曲飛びに選曲する | 42 |
| 9 | TAG 表示を ON/OFF する | 43 |
| 10 | WMA/MP3/WAV の音質を調節する | 43 |
| 11 | WMA/MP3/WAV の
タイトルなどを表示させる | 44 |

C O N T E N T S

内蔵 MD 内蔵 MD で MD を聞く

- | | | |
|---|-----------------|----|
| 1 | 聞きたい曲を直接選ぶ | 46 |
| 2 | モードの切り換えかた | 46 |
| 3 | 同じ曲やグループを繰り返し聞く | 47 |
| 4 | いつもと違う曲順で聞く | 48 |
| 5 | 聞きたい曲やグループをさがす | 49 |
| 6 | MD再生を一時停止する | 50 |
| 7 | MDのタイトルなどを表示させる | 50 |

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

ここ
だけ
読めば
すぐ
使え
ます

ラジオ ラジオを聞く

- | | | |
|---|------------------|----|
| 1 | モードの切り換えかた | 52 |
| 2 | 複数の放送局を自動的に記憶させる | 53 |
| 3 | 放送局を1局ずつ記憶させる | 54 |
| 4 | 記憶させた放送局を呼び出す | 55 |
| 5 | 放送局名を選ぶ | 56 |
| 6 | 放送局名などを表示させる | 57 |

はじめに

内蔵 CD で CD を聞く

WMA/MP3/WAV を聞く

内蔵 MD で MD を聞く

ラジオを聞く

マルチ CD で CD を聞く

音を調節する

音場と音質を調節する

便利な機能と初期設定

その他 (付録)

マルチCD

マルチCDでCDを聞く

(別売のマルチCDを組み合わせたときのみ)

- | | | |
|----|------------------------------|----|
| 1 | 聞きたいCDを直接選ぶ | 58 |
| 2 | 聞きたい曲を直接選ぶ | 58 |
| 3 | モードの切り換えかた | 59 |
| 4 | 同じ曲やCDを繰り返し聞く | 60 |
| 5 | 聞きたい曲やCDをさがす | 61 |
| 6 | いつもと違う曲順で聞く | 62 |
| 7 | 聞きたい曲だけ記憶させておく | 63 |
| 8 | 記憶させた曲だけ再生する | 64 |
| 9 | 記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す | 65 |
| 10 | 記憶させた曲をCDごとに記憶から消す | 65 |
| 11 | CDのタイトルを記憶させる | 66 |
| 12 | CDの音質を調節する | 68 |
| 13 | CD再生を一時停止する | 69 |
| 14 | タイトルを見て
聞きたいCDをさがす | 69 |
| 15 | CDのタイトルなどを表示させる | 70 |
| 16 | 「CD TEXT」のタイトルや
歌手名を表示させる | 70 |

音の調節

音を調節する

- | | | |
|---|-----------------------|----|
| 1 | オーディオ調節モードの切り換えかた | 72 |
| 2 | 前後左右の音量バランスを調節する | 73 |
| 3 | 小音量時の音にメリハリをつける | 73 |
| 4 | サブウーファーを使う | 74 |
| 5 | 低い音をスピーカーから
出力させない | 76 |
| 6 | 各ソースの音量の違いをそろえる | 79 |

DSP調節

音場と音質を調節する

- | | | |
|----|-------------------------------|----|
| 1 | DSP調節モードの切り換えかた | 80 |
| 2 | 音楽に合った音質を設定する | 81 |
| 3 | イコライザーカーブを大まかに補正する | 82 |
| 4 | イコライザーカーブを細かく調節する | 83 |
| 5 | 音場の中心で聞く | 84 |
| 6 | タイムアライメントを選ぶ | 85 |
| 7 | タイムアライメントを調節する | 86 |
| 8 | オートイコライザーをON/OFFする | 87 |
| 9 | イメージに合った演奏会場を再現する | 88 |
| 10 | 騒音に合わせて音量を変える | 90 |
| 11 | オートタイムアライメント&
イコライジングを行う前に | 91 |
| 12 | オートタイムアライメント&
イコライジングを行う | 93 |

C O N T E N T S

便利な機能

便利な機能と初期設定

- 1 瞬時に音量を小さくする 96
- 2 時計を表示させる 96
- 3 交通情報を受信する 97
- 4 よく使う機能を直接操作する 97
- 5 初期設定モードの切り換えかた 98
- 6 時計を合わせる 99
- 7 外部機器の音声を聞く 100
- 8 外部機器の名称を入力する 101
- 9 夜間のディスプレイの
明るさを切り換える 101
- 10 ディ스플레이の明暗を切り換える 102
- 11 RCA 外部出力から
出力される信号を選ぶ 103
- 12 音の歪みを補正する 103
- 13 ミュート/アッテネートを切り換える 104
- 14 CD タイトルなどのスクロールの
しかたを切り換える 105
- 15 エンタテインメント表示
を切り換える 106
- 16 プリズムインジケーター
の色を切り換える 107

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

ここ
だけ
読めば
すぐ
使え
ます

はじめに

内蔵 CD で CD を聞く

WMA/MP3/WAV を聞く

内蔵 MD で MD を聞く

ラジオを聞く

マルチ CD で CD を聞く

音を調節する

音場と音質を調節する

便利な機能と初期設定

その他 (付録)

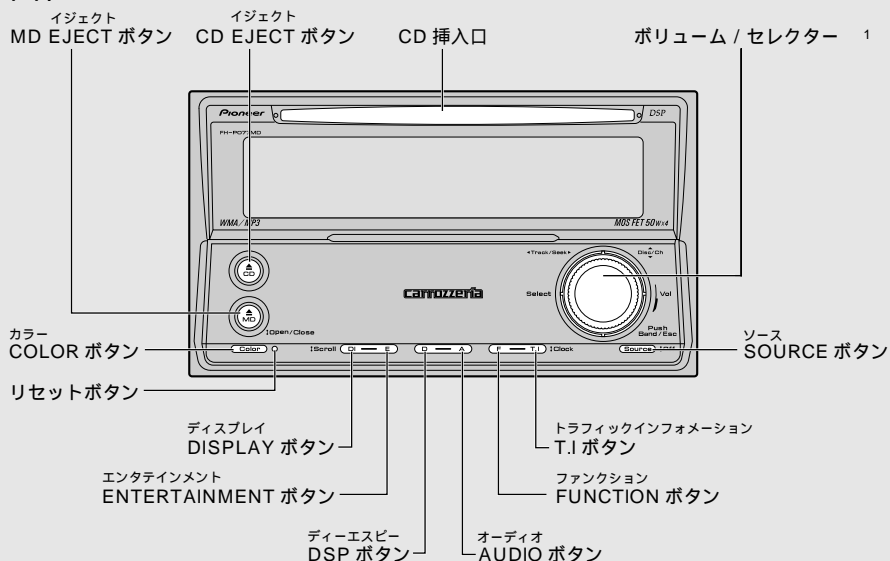
その他

その他 (付録)

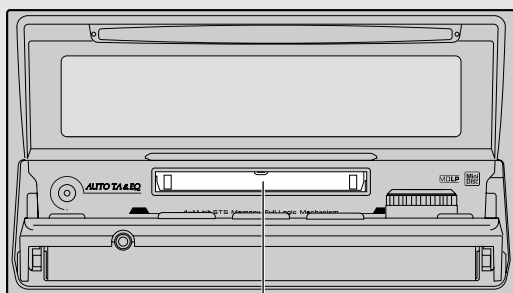
- 1 CD の正しい使いかた 108
- 2 WMA/MP3/WAV ファイルについて 110
- 3 MD の正しい使いかた 113
- 4 故障かな?と思ったら 114
- 5 こんなメッセージが表示されたら 116
- 6 保証書とアフターサービス 119
- 7 用語解説 120
- 8 おもな仕様 122

各部のなまえ

本体



本体 (オープン時)



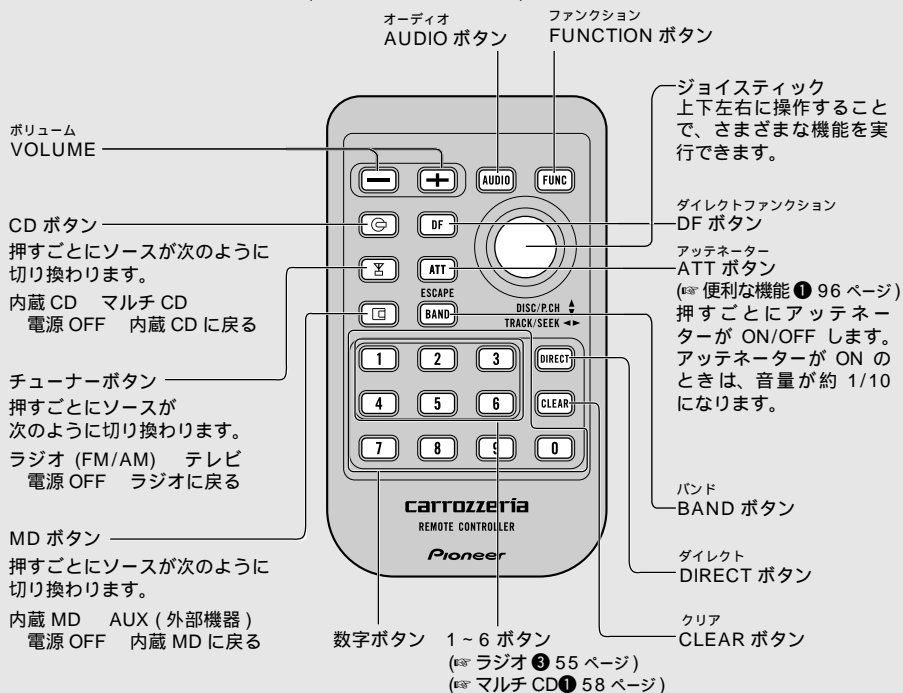
MD 挿入口

メモ

¹ ボリューム/セクターは、ロータリーボリュームとセクターの機能を兼ねています。本書の説明では、使う機能によってロータリーボリュームまたはセクターと表記を変えています。

リモコン

本体と同じなまへのボタンは、本体のボタンと同じ働きをします。また、一部のボタンは本体と操作方法が異なります。(☞はじめに⑥ 15 ページ)



DF ボタンについて

DF ボタンを押すと、ソースごとにあらかじめ記憶されている機能を直接操作することができます。内蔵 CD・WMA/MP3/WAV・内蔵 MD・マルチ CD でポーズ、ラジオで BSM、テレビで BSSM を操作することができます。(☞ 便利な機能① 97 ページ)

数字、DIRECT、CLEAR ボタンについて

数字、DIRECT、CLEAR ボタンを操作すると、ダイレクトサーチ機能を使うことができます。

- (☞ 内蔵 CD① 28 ページ)
- (☞ WMA/MP3/WAV① 36 ページ)
- (☞ 内蔵 MD① 46 ページ)
- (☞ マルチ CD② 58 ページ)

メモ

接続していないソースには切り換わりません。ディスクがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。
AUX (外部機器) の設定 (☞ 便利な機能⑦ 100 ページ) を ON にしないと、AUX には切り換わりません。

本機の操作の基本

本機を操作するとき、よく使うボタンなどについての説明です。

ふだん使う機能の操作のしかた

ふだん使う機能は、セレクターで操作します。

聞いているソース 操 作	CD、WMA、MP3、WAV、MDを 聞いているとき	ラジオ、テレビを聞いているとき
セレクターを左右 に操作する	選曲、早送り/早戻し	自動選局、手動選局
セレクターを上下 に操作する	再生するフォルダーの切り換え (WMA/MP3/WAV) 再生するディスクの切り換え (マルチCD) グループの切り換え (MD)	記憶させた放送局の切り換え
セレクターを押す	ROOT フォルダー選択 (2秒以上押す)	バンド (FM/AM) の切り換え TV1 と TV2 の切り換え

便利な機能の操作のしかた

ふだん使う機能以外は、オペレーションモードを切り換えて操作します。
オペレーションモードには5つのモードがあり、次の手順で操作します。

手 順	モード	ファンクション モード	詳細設定 モード	初期設定 モード	オーディオ 調節モード	DSP 調節 モード
1 それぞれの モードにする		FUNCTION ボタンを 押す。	FUNCTION ボタンを 2秒以上 押す。	電源OFFの ときに FUNCTION ボタンを2 秒以上押す。	AUDIO ボタンを 押す。	DSP ボタンを 押す。
2 機能を切り換える		FUNCTION ボタンを押す。			AUDIO ボタン を押す。	DSP ボタンを 押す。
3 機能をON/OFFする または 項目を選ぶ		セレクターを上下に操作する。			セレクターを 上下左右に操作する。 (選択または調節)	
		セレクターを左右に操作する。				
4 それぞれの モードを解除する		セレクターを押す。				

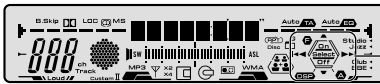
それぞれのモードで操作できる機能について

- ファンクションモード : CDのリPEAT再生 (E3 内蔵CD ③ 30 ページ) やマルチCDのスキャン再生 (E3 マルチCD ⑤ 61 ページ) など、それぞれのソースの便利な機能を操作できます。
- 詳細設定モード : CDのタイトル入力 (E3 マルチCD ① 66 ページ) やラジオの放送局名選択 (E3 ラジオ ⑥ 56 ページ) など、便利な機能の詳細を設定できます。
- 初期設定モード : 外部機器 (E3 便利な機能 ⑦ 100 ページ) やディマ (E3 便利な機能 ⑨ 101 ページ) などの設定ができます。
- オーディオ調節モード : フェーダー/バランス (E3 音の調節 ② 73 ページ) など、音に関する調節ができます。
- DSP 調節モード : グラフィックイコライザー (E3 DSP 調節 ② 81 ページ) などの音場と音質に関する調節ができます。

はじめに

ガイド表示について

本機の操作を行っているとき、ディスプレイを見て操作ができるように、ディスプレイにガイド表示が出ます。



FUNCTION、AUDIO、DSP、セレクターの中で、操作可能なボタンが表示されます。

表示の例	内容
	セレクターを上下左右に操作して本機を操作できます。
	セレクターを上下に操作して機能のON/OFFができます。また、FUNCTION ボタンで機能を切り換えることができます。
	セレクターを左右に操作して項目を選ぶことができます。また、AUDIO ボタンで機能を切り換えることができます。
	セレクターを上下左右に操作して機能を操作できます。また、DSP ボタンで機能を切り換えることができます。

本機の特長

本機は、音楽CD、WMA/MP3/WAVの再生に対応しています。

CD再生

音楽用のCD/CD-R/CD-RWを再生することができます。

WMA/MP3/WAV再生

WMA/MP3/WAVファイルが記録されたCD-R/CD-RW/CD-ROMの再生に対応しています。ISO9660のレベル1、レベル2、および拡張フォーマット (Joliet、Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。(※
その他⑦ 120ページ)

WMAについて



外装箱に印刷された、Windows Media™のロゴは、本機がWMAデータの再生に対応していることを示しています。

WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国 Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。

Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

メモ

WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

MP3について

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ <http://www.mp3licensing.com> をご覧ください。

営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送 (地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア)、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはバイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークの付いているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)



50枚型マルチCDプレーヤーの使用について

本機では、50枚型マルチCDプレーヤーの取扱説明書に記載されている50枚型マルチCDプレーヤー特有の機能を操作することはできません。本機で操作できるのは、本書に記載されている機能のみです。また、タイムリリストモードには切り換わりません。

長時間録音されたMDの再生について

本機は、MDLPに対応しています。長時間録音されているMDも再生することができます。

MDLPについて

MDLPとは、今までお使いになっているMDで、従来の録音できる時間より長く(2倍、4倍の時間)録音することができる圧縮方式です。

MDグループディスク再生について

本機は、MDグループ機能の再生に対応しています。MDに収録されている曲をグループとして登録したディスク(グループディスク)を再生している場合、グループ名を表示したり、お好みのグループだけを再生したりすることができます。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。

また、本機が電源OFFのときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のエンジンスイッチをON(またはACC)にしないでください。バッテリーが上がる恐れがあります。

デモモードについて

デモモードは、本機が電源OFFのときに、各ソースや本機の機能を表示して紹介する機能です。

デモモードを解除したいときは、デモンストレーションが表示されているときにENTERTAINMENTボタンを押してください。もう一度押すと、デモモードがONになります。車のエンジンを止めた状態で、デモンストレーションを長時間表示すると、バッテリー上がりの原因になります。

メモ

赤リード線(アクセサリ電源)は、常に車のバッテリーから電源が供給される電源回路には接続しないでください。車のイグニッションスイッチと本機の電源をOFFにしても、デモンストレーションが表示され、バッテリー上がりの原因になります。

はじめに

4

本機のリセットについて

リセット

本機を初期設定状態に戻すことができます。

リセットボタンについて

リセットボタンを押すと、本機のマイコンが初期設定状態（ご購入直後の状態）に戻ります。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

接続が終わった後。

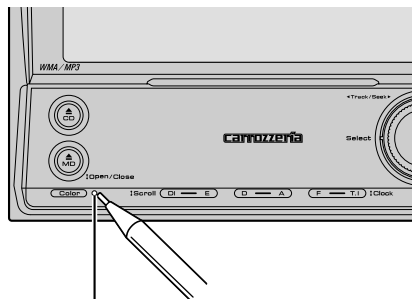
本機が正しく動作しないとき。

ディスプレイが正しく表示されないとき。

リセットボタンを押すと、本機の記憶（時計やラジオのプリセットなど）が消去されます。もう一度、セットしなおしてください。

1 本機をリセットする

ペン先などでリセットボタンを押す



リセットボタン

はじめに

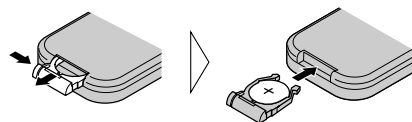
5

リモコンの準備

付属のリモコンを使うための準備です。

リモコンに電池を入れる

リモコンを裏返し、電池ホルダーを取り出して、リチウム電池（CR2025）を⊕側を上にしてセットします。



リモコンの操作可能範囲が狭くなったときは、新しい電池と交換してください。

リモコンの取り扱い上のご注意

リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。本体に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないときがあります。このようなときは、本体にリモコンを近づけて操作してください。

付属の電池は充電できません。

リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。

電池の液もれが起ったときは、内部についた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。

不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

付属リモコンでの操作について

本書では、本体のボタンを例に操作説明を行っています。本機は、本体のボタンと付属リモコンのどちらでも同様の操作を行うことができますが、本体のボリューム/セレクターと、リモコンのジョイスティック、BAND ボタン、VOLUME ボタンでは操作方法が異なります。付属リモコンで操作する場合は、次の表を参照して、操作を行ってください。

ボリューム/セレクターでの操作	リモコンのジョイスティックやボタンでの操作
上に操作する	ジョイスティックを上へ操作する
下に操作する	ジョイスティックを下へ操作する
左に操作する	ジョイスティックを左へ操作する
右に操作する	ジョイスティックを右へ操作する
押す	BAND ボタンを押す
右に回す	VOLUME ボタン (+) を押す
左に回す	VOLUME ボタン (-) を押す

聞きたいソース (音源) に切り換えることができます。

1 ソースを切り換える

SOURCE ボタンを押す

SOURCE ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

ラジオ (FM/AM)

テレビ (別売)

内蔵CD

マルチCD (別売)

内蔵MD

エクスターナルユニット1
(別売) ¹

エクスターナルユニット2
(別売) ¹

AUX (外部機器) (別売) ²

ラジオに戻る

2 電源を切る

SOURCE ボタンを 1 秒以上押す
本機の電源が切れます。

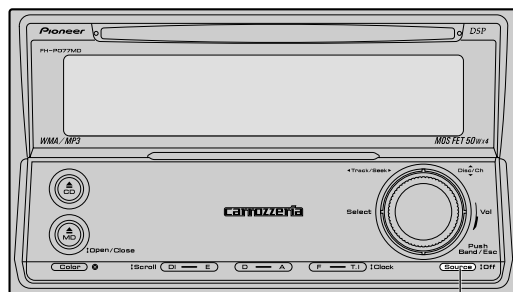
メモ

接続していないソースには切り換わりません。
CDやMDがセットされていないときは、その
ソースには切り換わりません。

本機の青リード線 (オートアンテナ) に車側の
オートアンテナのコントロール端子を接続してい
る場合、ソースをラジオにすると車に装備され
ているオートアンテナがのびます。

¹エクスターナルユニットとは、本機がソースとし
て対応していないパイオニア製品 (将来発売され
る製品など) の基本的な機能をコントロールでき
るように用意している特別なソースです。本機で
は、2台のエクスターナルユニットをコント
ロールすることができます。2台のエクスターナ
ルユニットを接続した場合、本機によって、エク
スターナル1、エクスターナル2が自動的に設定
されます。

²AUX (外部機器) の設定 (☞ 便利な機能 ⑦ 100
ページ) を ON にしないと、AUX には切り換わり
ません。

ソース
SOURCE ボタン

テレビを接続したときは

操作のしかたは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

組み合わせ例

ソース	製品の型番
テレビ	「AVX-P777」

上記の製品の取扱説明書では、本機以外の製品を例にして、操作説明が行われている場合があります。その製品と対応しているボタンで操作を行ってください。

マルチ MD を接続したときは

本機は、マルチ MD (例 :「MD-P100II」) をエクスターナルユニットとして操作することができます。操作のしかたは、マルチ MD の取扱説明書の「メインユニット ③」を参照してください。

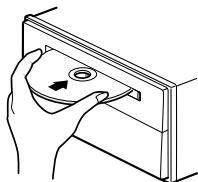
ここだけで **2** CD のふだんの操作

CD を再生する 曲を選ぶ

ここだけの操作で、内蔵のCDプレーヤーでCDを聞くことができます。

1 CDを再生する

タイトル面を上にして、CD 挿入口に差し込む



CDの再生が始まります。

ご注意

CDシングル (8cm CD) もアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。

2 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

セレクターを左右に操作する

右：次の曲を選ぶとき (または早送り)

左：前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号 再生経過時間

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し ¹	0.5秒以上押し続けている間

¹ 選曲方法をラフサーチに設定した場合は、10曲飛びに選曲します。

(内蔵 CD 7 33 ページ)

メモ

CDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース (ラジオやMDなど) に切り換えることもできます。(ここだけで 16 ページ)
CD 挿入口には、CD 以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。
ディスクを挿入すると、ファイル形式を読みとる間、“FRMTREAD” が表示されます。

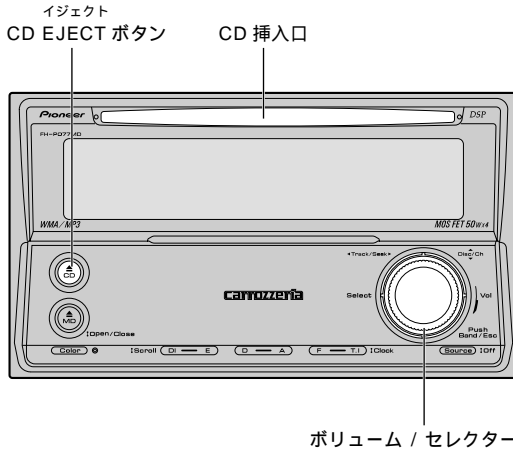
早送り/早戻しをする

音量を調節する

CDを取り出す

トラックサーチ / 早送り/早戻し / 音量調節

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 音量を調節する

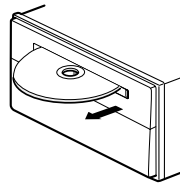
ロータリーボリュームを右または左に回す
 右に回す：大きくするとき
 左に回す：小さくするとき



音量は0～40の範囲で調節できます。
 約4秒間、音量が表示されます。

4 CDを取り出して CD再生をやめる

CD EJECT ボタンを押す
 CDが出てきて、電源がOFFになります。

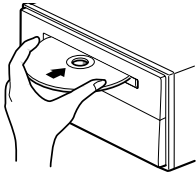


出てきたCDはすぐに取り出して、保管してください。

ここだけの操作で、内蔵のCDプレーヤーでWMA/MP3/WAVを聞くことができます。再生できるWMA/MP3/WAVについては (E37 其他 ② 110 ページ)

1 CD-ROMを再生する

タイトル面を上にして、CD 挿入口に差し込む

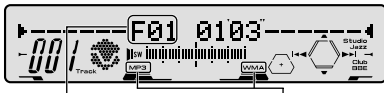


CD-ROMの再生が始まります。

2 聞きたいフォルダーを選ぶ

セレクターを上下に操作する

上: 次のフォルダーを選ぶとき
下: 前のフォルダーを選ぶとき



フォルダー番号

MP3 / WMA
インジケーター

セレクターを2秒以上押し、フォルダー01 (ROOT) に戻ります。ただし、フォルダー01 (ROOT) にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。

3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

セレクターを左右に操作する

右: 次の曲を選ぶとき (または早送り)
左: 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号

再生経過時間

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し ¹	0.5秒以上押し 続けている間

WMA/MP3/WAVファイルを早送り/早戻ししているときは、音声は出力されません。

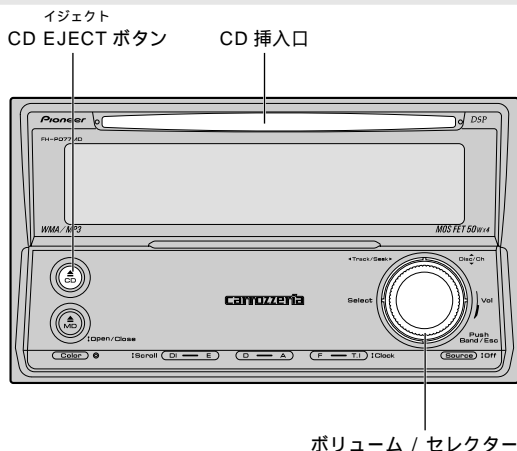
¹ 選曲方法をラフサーチに設定した場合は、10曲飛びに選曲します。

(E37 WMA/MP3/WAV ⑦ 42 ページ)

メモ

CD-ROMをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース (ラジオやMDなど) に切り換えることもできます。(E37 ここだけで ① 16 ページ)
CD挿入口には、CD以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。
ディスクを挿入すると、ファイル形式を読みとる間、“FRMTREAD”が表示されます。
VBR (可変ビットレート) で録音されたファイルを早送り/早戻しすると、再生経過時間が正しく表示されないことがあります。

ここだけ読めば
すぐ使えます



4 音量を調節する

ロータリーボリュームを右または左に回す

右に回す：大きくするとき
左に回す：小さくするとき



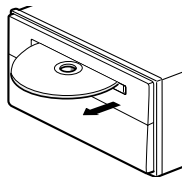
音量は0～40の範囲で調節できます。
約4秒間、音量が表示されます。

音楽データの切り換えについて

WMA/MP3/WAVファイルと、音楽データが混在しているディスクの場合、セクターを押して、WMA/MP3/WAVファイルと音楽データを切り換えて再生することができます。WMA/MP3/WAVファイルと音楽データを切り換えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。このとき、音楽データ側に記録された文字情報は表示されません。

5 CD-ROMを取り出してCD-ROM再生をやめる

CD EJECT ボタンを押す
CD-ROMが出てきて、電源がOFFになります。



出てきたCD-ROMはすぐに取り出して、保管してください。

ここだけで 4 MD のふだんの操作

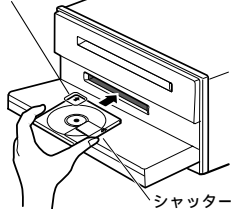
MD を再生する グループを選ぶ

ここだけの操作で、内蔵の MD プレーヤーで MD を聞くことができます。

1 MD を再生する

MD EJECT ボタンを押して、フロントパネルを開き、MD を MD 挿入口に差し込む

矢印の向きに差し込みます。



MD のラベル面を上にして差し込みます。

確認

MD のシャッターが閉まっていることを確認してから差し込んでください。

自動的にフロントパネルが閉まり、MD の再生が始まります。

2 聞きたいグループを選ぶ (グループディスクの場合)

セレクターを上下に操作する

上：次のグループを選ぶとき

下：前のグループを選ぶとき

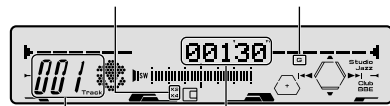
3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

セレクターを左右に操作する

右：次の曲を選ぶとき (または早送り)

左：前の曲を選ぶとき (または早戻し)

長時間再生表示 グループディスク表示



曲番号 再生経過時間

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5 秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5 秒以上押し続けている間

2倍長時間録音の MD 再生時は “×2” が、4倍長時間録音の MD 再生時は “×4” が表示されます。

! 注意

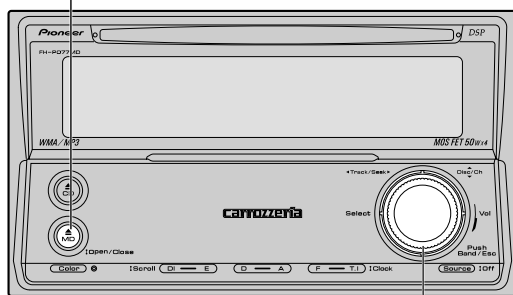


注意

フロントパネルの開閉動作中は、指などを挟まないようにご注意ください。フロントパネルを開いたまま、走行しないでください。急ブレーキ時にフロントパネルに体が当たったりして、思わぬケガをする恐れがあります。

ここだけ読めば
すぐ使えます

イジェクト
MD EJECT ボタン



ボリューム / セクター

4 音量を調節する

ロータリーボリュームを右または左に回す

右に回す：大きくするとき
左に回す：小さくするとき



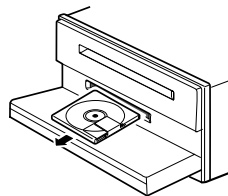
音量は0～40の範囲で調節できます。
約4秒間、音量が表示されます。

メモ

MDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース(ラジオやCDなど)に切り換えることもできます。(P.16) ここだけで① 16ページ
MD挿入口には、MD以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。

5 MDを取り出してMD再生をやめる

MD EJECT ボタンを押す
自動的にフロントパネルが開き、MDが出てきます。



出てきたMDはすぐに取り出して、保管してください。

MD EJECT ボタンを押して、フロントパネルを閉める
フロントパネルが閉まります。

ここだけで **5** ラジオのふだんの操作

バンドを選ぶ

放送局を選ぶ

ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。

1 ソースを
ラジオにする

SOURCE ボタンを押して選ぶ
ラジオを受信します。

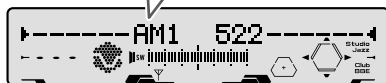
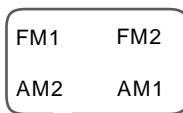


ステレオ放送を受信すると表示されます。

2 バンドを
選ぶ

セレクターを押す

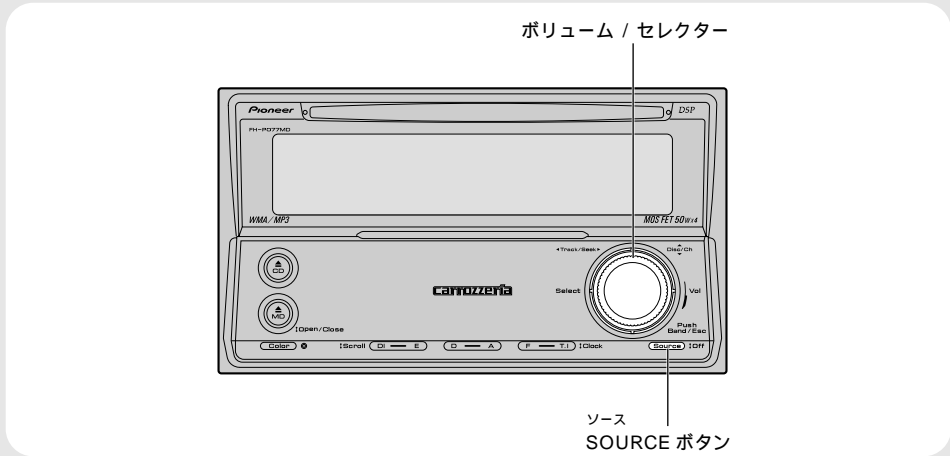
セレクターを押すごとに、次のようにバンド
が切り換わります。



バンドごとに放送局を6局ずつ記憶でき
ます。(ラジオ② 53、54ページ)

バンド1とバンド2を切り換えて使うこ
とでより多くの放送局を記憶できます。
例えば、バンド1にはふだんよく聞く放
送局を記憶させておきます。旅行先な
ど、どんな放送局があるのかわらない地
域に行ったときに、バンド2に切り換え
てBSMを使うと、バンド1に記憶させ
た放送局はそのまま使いになれます。

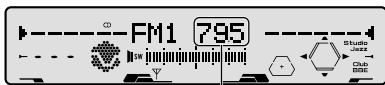
ここだけ読めば
すぐ使えます



3 放送局を選局する

セレクターを左右に操作する

右：高い周波数の放送局を選局するとき
左：低い周波数の放送局を選局するとき



受信周波数

選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ)	0.5秒未満
自動選局	0.5秒以上

0.5秒以上押し続けている間、途中の放送局をとばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。

電波の強い放送局を選局するには、自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには、手動選局をおすすめします。

4 音量を調節する

ロータリーボリュームを右または左に回す

右に回す：大きくするとき
左に回す：小さくするとき



音量は0～40の範囲で調節できます。
約4秒間、音量が表示されます。

5 ラジオの受信をやめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする (P.16 ここだけで① 16ページ)

ここだけの操作で、別売のマルチCDプレーヤーでCDを聞くことができます。

1 ソースを マルチCDにする

SOURCE ボタンを押して選ぶ
マルチCDの再生が始まります。

2 聞きたいCDを 選ぶ

セクターを上下に操作する

上：次のCDを選ぶとき

下：前のCDを選ぶとき



CD番号

3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

セクターを左右に操作する

右：次の曲を選ぶとき (または早送り)

左：前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号

再生経過時間

選曲と早送り/早戻しの使い分け

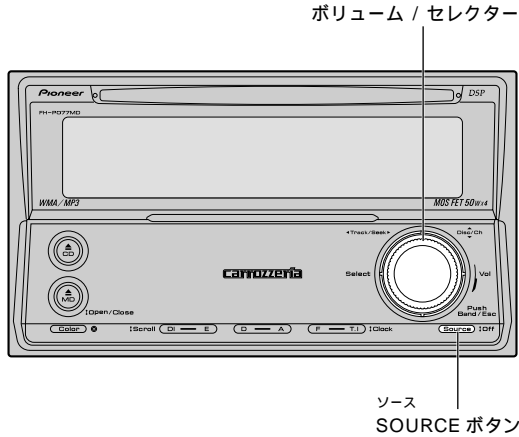
聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

メモ

マルチCDが準備動作 (CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど) をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると“Ready”が表示されます。

マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、“No Mag”が表示されます。

ここだけ読めば
すぐ使えます



4 音量を調節する

ロータリーボリュームを右または左に回す

右に回す：大きくするとき

左に回す：小さくするとき

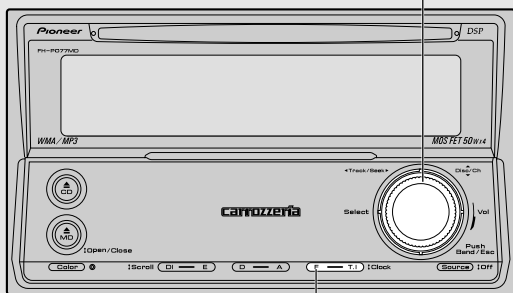


音量は0～40の範囲で調節できます。
約4秒間、音量が表示されます。

5 マルチCD再生をやめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする (☞ ここだけで① 16 ページ)

ボリューム / セレクター



ファンクション
FUNCTION ボタン

内蔵CD

1

聞きたい曲を直接選ぶ

ダイレクトサーチ

リモコンを使って、聞きたい曲を直接選ぶことができます。

1

曲番号入力画面を表示する

DIRECT ボタンを押す

(リモコン はじめに ① 9 ページ)



3

聞きたい曲を再生する

DIRECT ボタンを押す

選んだ曲が再生されます。



2

聞きたい曲の番号を入力する

数字ボタンを押す



メモ

曲番号入力画面は、約8秒間何も操作しないと解除されます。

CLEAR ボタンを押すと、入力した番号を消去することができます。

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 ファンクションモードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード (内蔵CD③ 30ページ)

ランダムモード (内蔵CD④ 31ページ)

スキャンモード (内蔵CD⑤ 32ページ)

ポーズモード (内蔵CD⑥ 33ページ)

選曲方法切り換えモード
(内蔵CD⑦ 33ページ)

TAG表示モード¹
(WMA/MP3/WAV⑧ 43ページ)

COMP切り換えモード

リピートモードに戻る

メモ

¹音楽データを再生している場合、TAG表示をONにしても効果はありません。
ファンクションモードを解除するには、セクターを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

詳細設定モードの切り換え

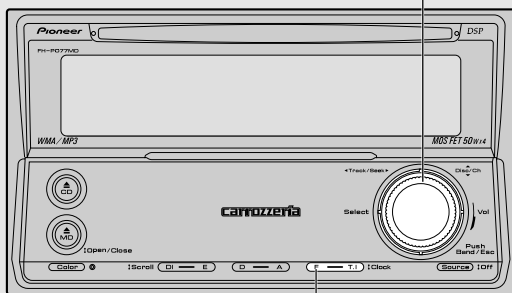
1 詳細設定モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押す
タイトル入力モードになります。
(内蔵CD⑨ 34ページ)

メモ

詳細設定モードを解除するには、セクターを押します。
「CD TEXT」を再生しているときは、詳細設定モードに切り換わりません。(「CD TEXT」にあらかじめ収録されているタイトルは変更できません。)

ボリューム / セレクター



ファンクション
FUNCTION ボタン

内蔵CD

3

同じ曲を繰り返し聞く

トラックリピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。

1 リピートモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(内蔵CD② 29ページ)



2 リピート再生をONにする

セレクターを上にも操作する (下でOFF)



今聞いている曲を繰り返し再生します。

セレクターを押して、ファンクションモードを解除してください。



リピート再生中に表示されます

選曲をCDプレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順(ランダム)で再生することができます。

1 ランダムモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(内蔵CD 29ページ)



2 ランダム再生をONにする

セレクターを上(下でOFF)に操作する

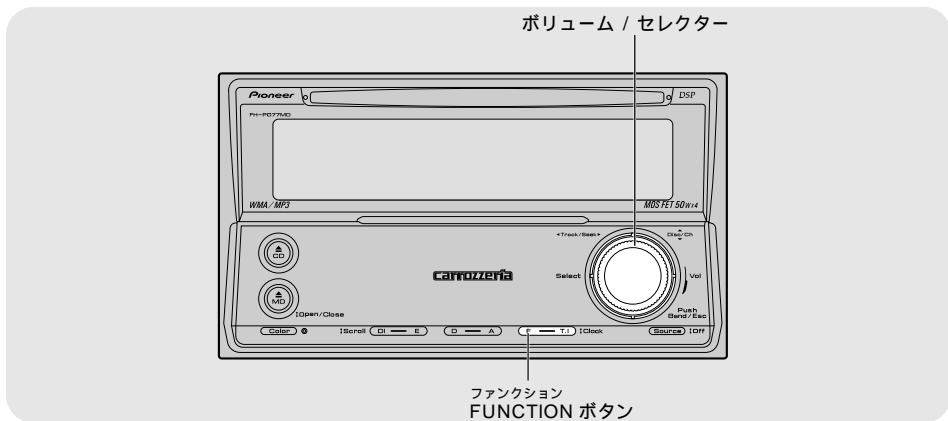


次の曲から、ランダムに選曲します。

セレクターを押して、ファンクションモードを解除してください。



ランダム再生中に表示されます。



内蔵CD

5

聞きたい曲をさがす

スキャン再生

曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。

1 スキャンモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(内蔵CD 29ページ)



2 スキャン再生を始める

セレクターを上にも操作する



曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に表示されます。

3 聞きたい曲が再生されたら スキャン再生をOFFにする

確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順1の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。

スキャンモードのときにセレクターを下にも操作する



セレクターを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ


スキャン再生を始めた曲まで戻るとスキャン再生は解除されます。

CD再生を一時停止する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

1 ポーズモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
( 内蔵CD② 29ページ)

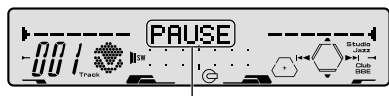


2 CD再生を一時停止する

セレクターを上にも操作する(下で再生)



セレクターを押して、ファンクションモードを解除してください。




一時停止中に表示されます。

選曲方法を切り換える

セレクターを左右に操作し続けたときに、早送り/早戻しにするか、10曲飛びに選曲するラフサーチにするかを選ぶことができます。

1 選曲方法切り換えモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
( 内蔵CD② 29ページ)



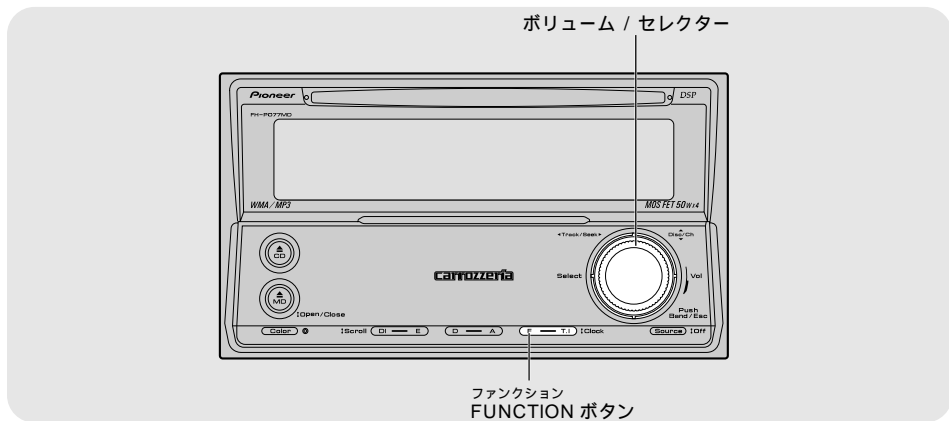
2 選曲方法を選ぶ

セレクターを左右に操作する

右: ROUGH (ラフサーチ) を選ぶとき
左: FF/REV (早送り/早戻し) を選ぶとき



セレクターを押して、ファンクションモードを解除してください。



内蔵CD 8 10曲飛びに選曲する

ラフサーチ

10曲以上収録されているディスクの場合、10曲飛びに選曲することができます。

1 選曲方法切り換えモードにしてラフサーチを選ぶ

(内蔵CD 7 33ページ)

2 聞きたい曲を選ぶ

セレクターを左右に0.5秒以上操作する

- 右：10曲先の曲を選ぶとき
- 左：10曲前の曲を選ぶとき



曲番号

メモ

10曲以下のディスクでは、ラフサーチを行うと、最初の曲と最後の曲を選曲します。ラフサーチ後に残りの曲が10曲以下になった場合も同様になります。

内蔵CD 9 CDのタイトルなどを表示させる

タイトル表示

CDのタイトルを表示させるために、あらかじめタイトルを入力して記憶させておきます。

タイトル表示について

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

タイトルの記憶、表示のしかたは、マルチCDと同じです。(Pioneer マルチCD 16 66、70ページ)

タイトルは8文字まで入力できます。

内蔵CDのタイトルは、48枚分の記憶ができます。

48枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

タイトルを記憶させたCDをマルチCDにセットしたときは、ディスプレイにタイトルを表示させることができます。

マルチCDを組み合わせると、最大100枚分のタイトルを記憶することができます。

「CD TEXT」を再生したときのタイトルの表示のしかたは、マルチCDと同じです。

(Pioneer マルチCD 16 70ページ)

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、残響音を補正することができます。

COMP について

COMPとは、COMPression (コンプレッション) の略です。大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

BMX について

音楽の残響音を補正し、自然な広がりを持った音質に改善する機能です。WMA/MP3などの残響音の成分を補正し、本来の音質を再現することができます。

1 COMP 切り換えモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

( 内蔵 CD 29 ページ)



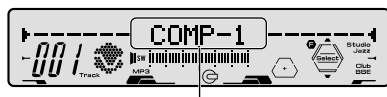
2 機能を選ぶ

セレクターを上下に操作する
セレクターを操作するごとに次のように切り換わります。

COMP OFF COMP-1

BMX-2 COMP-2

BMX-1 COMP OFF

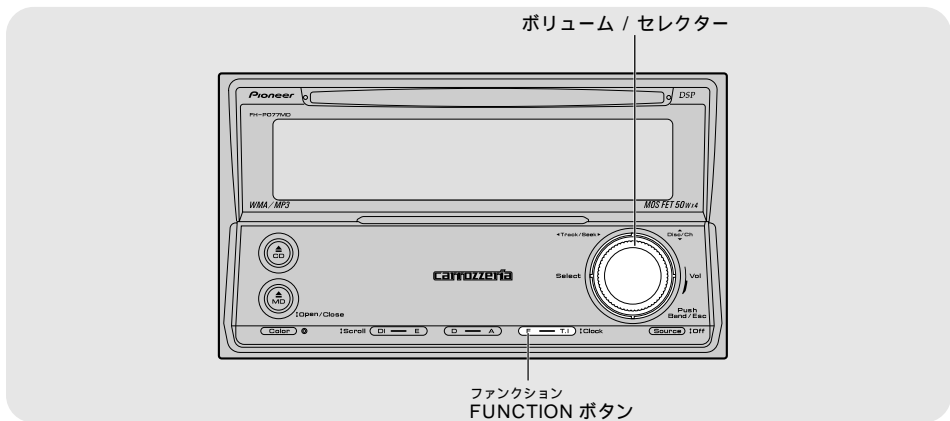


現在のCOMP / BMXの状態が表示されます。

セレクターを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

COMP、BMXともに1より2の方が効果が大きくなります。



WMA / MP3/WAV
1

聞きたい曲を直接選ぶ

ダイレクトサーチ

リモコンを使って、聞きたい曲を直接選ぶことができます。

1 曲番号入力画面を表示する

DIRECT ボタンを押す
(☞ はじめに 9 ページ)



2 聞きたい曲の番号を入力する

数字ボタンを押す



3 聞きたい曲を再生する

DIRECT ボタンを押す



選んだ曲が再生されます。

メモ

曲番号入力画面は、約8秒間何も操作しないと解除されます。

CLEAR ボタンを押すと、入力した番号を消去することができます。

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 ファンクションモードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード

( WMA/MP3/WAV **3** 38 ページ)

ランダムモード

( WMA/MP3/WAV **4** 39 ページ)

スキャンモード

( WMA/MP3/WAV **5** 40 ページ)

ポーズモード

( WMA/MP3/WAV **6** 41 ページ)

選曲方法切り換えモード

( WMA/MP3/WAV **7** 42 ページ)

TAG 表示モード

( WMA/MP3/WAV **9** 43 ページ)

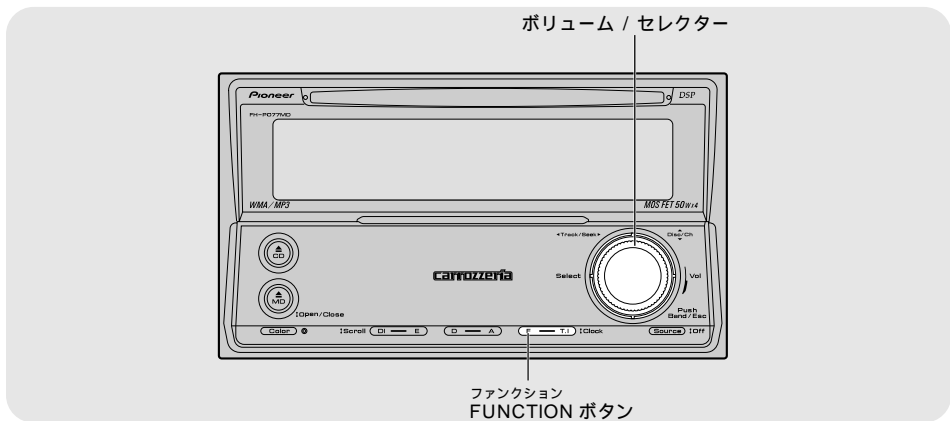
COMP 切り換えモード

( WMA/MP3/WAV **10** 43 ページ)

リピートモードに戻る

メモ

ファンクションモードを解除するには、セレクトキーを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)



WMA / MP3 / WAV
3

同じ曲やフォルダーを繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1つのフォルダーを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

再生範囲について

再生範囲 (繰り返し聞く範囲) は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
フォルダーリピート	再生中のフォルダーを繰り返し再生します。
ディスクリピート	本機にセットされているディスクを通して再生します。(通常はこのモードにしておきます。)

2 再生範囲を切り換える

セレクターを左右に操作する
セレクターを操作するごとに次のように切り換わります。



DSC (ディスクリピート)

TRK (トラックリピート)

FLD (フォルダーリピート)

DSCに戻る

1 リピートモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(WMA/MP3/WAV ② 37 ページ)



セレクターを押して、ファンクションモードを解除してください。



トラックリピートのときは“RPT”、フォルダーリピートのときは“□”が表示されます。

メモ

フォルダーリピートは、再生中のフォルダー内の曲 (WMA/MP3/WAV ファイル) だけを再生します。サブフォルダー内の曲は再生されません。

1 リピートモードにして再生範囲を選ぶ (E WMA/MP3/WAV ③)

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

2 ランダムモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ (E WMA/MP3/WAV ② 37 ページ)



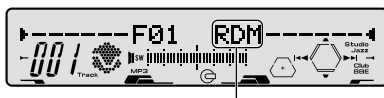
3 ランダム再生を ON にする

セクターを上にもしくは下にも操作する (下で OFF)



次の曲から、ランダムに選曲します。

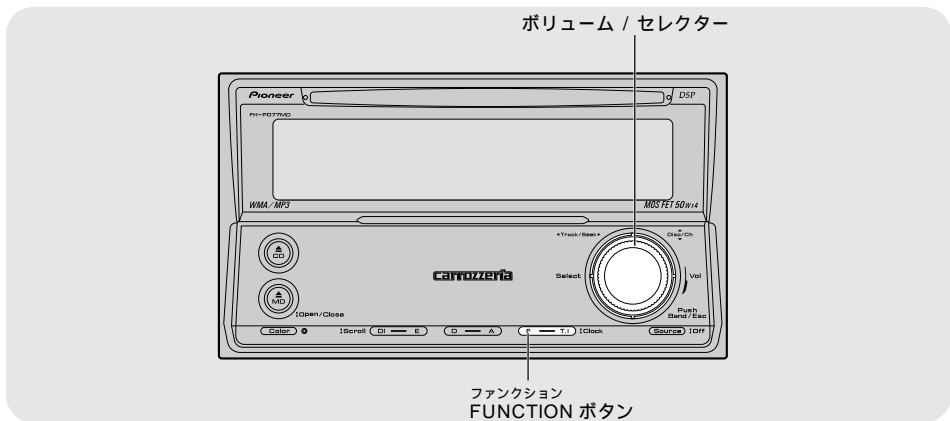
セクターを押して、ファンクションモードを解除してください。



ランダム再生中に表示されます。

メモ

トラックリピートのときに、ランダム再生を ON にすると、再生範囲がフォルダーリピートに切り換わります。



WMA / MP3 / WAV
5

聞きたい曲やフォルダーをさがす

スキャン再生

今聞いているフォルダーの、曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、すべてのフォルダーの、1曲目の始めの部分だけを次々に聞くこともできます。

1 リピートモードにして再生範囲を選ぶ (WMA/MP3/WAV 38 ページ)

聞きたい曲をさがすとき
(トラックスキャン再生)

再生範囲をフォルダーリピートに切り換えます。再生中のフォルダーの全曲を、約10秒ずつ再生できます。

聞きたいフォルダーをさがすとき
(フォルダースキャン再生)

再生範囲をディスクリピートに切り換えます。ディスク内のすべてのフォルダーの1曲目だけを、約10秒ずつ再生できます。

2 スキャンモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(WMA/MP3/WAV 37 ページ)



3 スキャン再生を始める

セレクターを上にも操作する



曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に表示されます。

WMA/MP3/WAV 再生を一時停止することができます。

4 聞きたい曲 (フォルダー) が再生されたらスキャン再生をOFFにする

確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順2の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。

スキャンモードのときにセクターを下に操作する



セクターを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

スキャン再生を始めた曲 (またはフォルダー) まで戻ると、スキャン再生は解除されます。トラックリピートの際に、スキャン再生をONにすると、再生範囲がフォルダーリピートに切り換わります。

1 ポーズモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(WMA/MP3/WAV 37 ページ)



2 WMA/MP3/WAV 再生を一時停止する

セクターを上を操作する (下で再生)

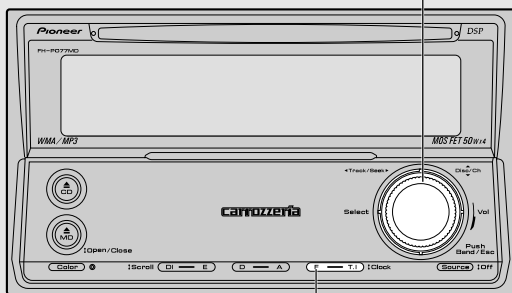


セクターを押して、ファンクションモードを解除してください。



一時停止中に表示されます。

ボリューム / セレクター



ファンクション
FUNCTION ボタン

WMA / MP3 / WAV 7 選曲方法を切り換える

セレクターを左右に操作し続けたときに、早送り/早戻しにするか、10曲飛びに選曲するラフサーチにするかを選ぶことができます。

1 選曲方法切り換えモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(WMA/MP3/WAV ② 37 ページ)



2 選曲方法を選ぶ

セレクターを左右に操作する
右: ROUGH (ラフサーチ) を選ぶとき
左: FF/REV (早送り/早戻し) を選ぶとき



セレクターを押して、ファンクションモードを解除してください。

WMA / MP3 / WAV 8 フォルダー内の曲を10曲飛びに選曲する ラフサーチ

10曲以上収録されているフォルダーの場合、10曲飛びに選曲することができます。

1 選曲方法切り換えモードにしてラフサーチを選ぶ

(WMA/MP3/WAV ⑦)

2 聞きたい曲を選ぶ

セレクターを左右に0.5秒以上操作する
右: 10曲先の曲を選ぶとき
左: 10曲前の曲を選ぶとき



曲番号

メモ

10曲以下のフォルダーでは、ラフサーチを行うと、最初の曲と最後の曲を選曲します。ラフサーチ後に残りの曲が10曲以下になった場合も同様になります。

TAG 表示を
ON/OFF する

曲名、アーティスト名およびアルバム名などの文字情報を収録したMP3/WMAディスクを再生している場合、ID3 tag やWMA tagの表示をON/OFFすることができます。

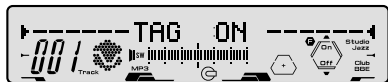
1 TAG 表示モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(WMA/MP3/WAV ② 37 ページ)



2 TAG 表示を ON にする

セクターを上にも操作する (下でOFF)



セクターを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

TAG 表示を ON にすると、文字情報を読み込むために、聞いている曲の始めに戻ります。

漢字やカナで曲名、アーティスト名およびアルバム名が入力されている場合、正しく表示できません。

ID3 tag の Ver1.0 および Ver1.1 の場合、ID3 tag の表示を OFF にすると、ON にしている場合に比べ、曲を切り換えたときに再生が始まるまでの時間が短くなります。

WMA/MP3/WAV
の音質を調節する

COMP / BMX

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、残響音を補正することができます。

COMP について

COMP とは、COMPRESSION (コンプレッション) の略です。大きな音を抑え、小さな音を押上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

BMX について

音楽の残響音を補正し、自然な広がりを持った音質に改善する機能です。WMA/MP3 などの残響音の成分を補正し、本来の音質を再現することができます。

1 COMP 切り換えモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(WMA/MP3/WAV ② 37 ページ)



2 機能を選ぶ

セクターを上下にも操作する

セクターを操作するごとに次のように切り換わります。

COMP OFF COMP-1

BMX-2 COMP-2

BMX-1 COMP OFF

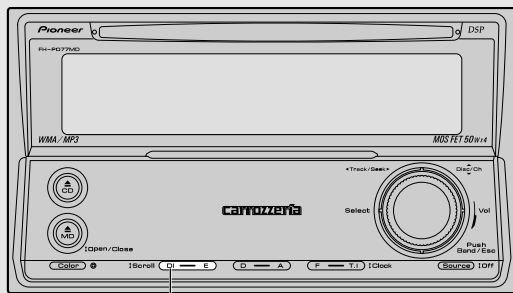
現在の COMP / BMX の状態が表示されます。



セクターを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

COMP、BMX ともに 1 より 2 の方が効果が大きくなります。



ディスプレイ
DISPLAY ボタン

WMA / MP3 / WAV
11

WMA/MP3/WAVのタイトルなどを表示させる

タイトル表示 / タイトルスクロール

WMA/MP3/WAVファイルに記録された、曲名やフォルダー名、アルバム名などの文字情報や、ビットレートなどを表示させることができます。

表示切り換え

1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

WMA/MP3の場合
再生経過時間表示

フォルダー名 (FOLDER)

ファイル名 (FILE)

トラックタイトル (TRK TTL) ¹

トラックアーティストネーム
(TRK ART) ¹

アルバムタイトル (ALBUM) ¹

ビットレート表示

再生経過時間に戻る

WAVの場合
再生経過時間表示

フォルダー名 (FOLDER)

ファイル名 (FILE)

サンプリング周波数

再生経過時間に戻る

メモ

¹TAG表示がOFFの場合、トラックタイトル、トラックアーティストネーム、およびアルバムタイトルには切り換わりません。

曲名 (TRK TTL)などが収録されていないCDで表示を切り換えると、“NO NAME”などが表示されます。

WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

漢字やひらがなで入力されたタイトルは、本機では正しく表示されません。正しく表示させるためには、半角の英数字やカナでタイトルを入力してください。

VBR (可変ビットレート) で記録されたMP3ファイルを再生中に、表示をビットレート表示に切り換えた場合、“VBR”と表示されます。

VBR (可変ビットレート) で記録されたWMAファイルを再生中に、表示をビットレート表示に切り換えた場合、平均ビットレートが表示されます。

隠れている文字を表示する

1 隠れているタイトルを表示する

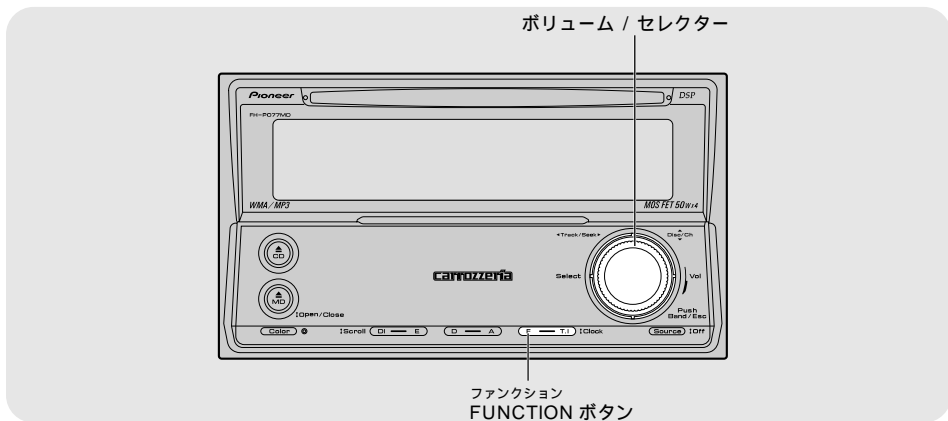
DISPLAY ボタンを 2 秒以上押す



隠れている文字が順番に表示されます。

メモ

初期設定でエバースcroll機能をONにした場合、タイトルが繰り返しスクロール表示します。タイトルの最初の8文字を表示させて、再びスクロールさせたいときは、DISPLAY ボタンを2秒以上押してください。エバースcrollについては(438 便利な機能 105 ページ)



1 内蔵MD 聞きたい曲を直接選ぶ

ダイレクトサーチ

リモコンを使って、聞きたい曲を直接選ぶことができます。

1 曲番号入力画面を表示する

DIRECT ボタンを押す (☞ はじめに 1 9 ページ)



2 聞きたい曲の番号を入力する

数字ボタンを押す



3 聞きたい曲を再生する

DIRECT ボタンを押す



選んだ曲が再生されます。

メモ
曲番号入力画面は、約 8 秒間何も操作しないと解除されます。
CLEAR ボタンを押すと、入力した番号を消去することができます。

2 内蔵MD モードの切り換えかた

内蔵のMDプレーヤーで演奏方法を切り換えて聞くことができます。

1 ファンクションモードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード (☞ 内蔵MD ③)

ランダムモード (☞ 内蔵MD ④ 48 ページ)

スキャンモード (☞ 内蔵MD ⑤ 49 ページ)

ポーズモード (☞ 内蔵MD ⑥ 50 ページ)

リピートモードに戻る

メモ

ファンクションモードを解除するには、セレクターを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

同じ曲やグループを繰り返し聞く


リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。グループディスクの場合、今聞いている曲や1つのグループを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

グループディスク以外の場合

1 リピートモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

( 内蔵 MD②)



2 リピート再生を ON にする

セクターを上に操作する (下で OFF)



今聞いている曲を繰り返し再生します。

セクターを押して、ファンクションモードを解除してください。



リピート再生中に表示されます。

グループディスクの場合


再生範囲について

再生範囲 (繰り返し聞く範囲) は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
グループリピート	再生中のグループを繰り返し再生します。
ディスクリピート	本機にセットされているディスクを通して再生します。(通常は、このモードにしておきます。)

1 リピートモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

( 内蔵 MD②)

2 再生範囲を切り換える

セクターを左右に操作する

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



DSC (ディスクリピート)


TRK (トラックリピート)

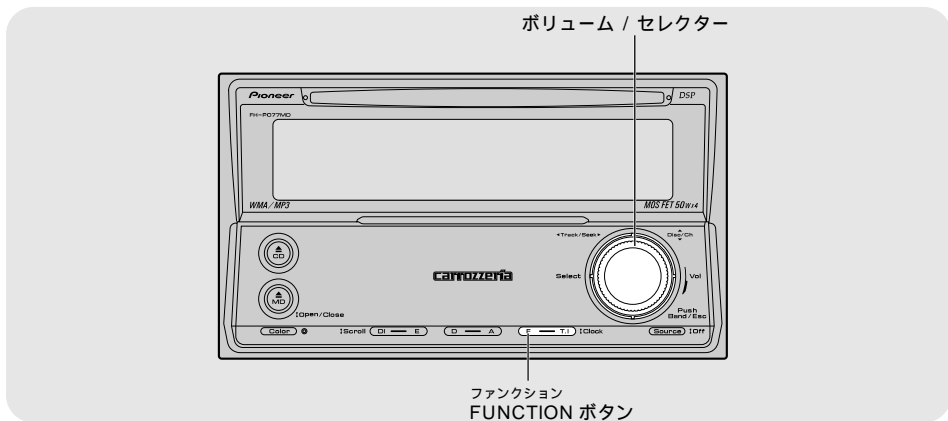
GRP (グループリピート)

DSCに戻る

セクターを押して、ファンクションモードを解除してください。



トラックリピートのときは、“RPT”、グループリピートのときは“”が表示されます。



内蔵MD
4

いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をMDプレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

1 グループディスクの場合、
リピートモードにして再生範囲を選ぶ

(内蔵MD 47ページ)

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

2 ランダムプレイモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ



3 ランダム再生をONにする

セレクターを上にも操作する (下でOFF)



次の曲から、ランダムに選曲します。

セレクターを押して、ファンクションモードを解除してください。



ランダム再生中に表示されます。

聞きたい曲やグループをさがす

スキャン再生

曲の始めの部分だけを、約 10 秒間ずつ徐々に聞くことができます。グループディスクの場合、今聞いているグループの曲の出だし部分だけを徐々に聞くことができます。また、全グループの 1 曲目の出だし部分だけを徐々に聞くこともできます。

1 グループディスクの場合、リピートモードにして再生範囲を選ぶ

( 内蔵 MD ④ 47 ページ)

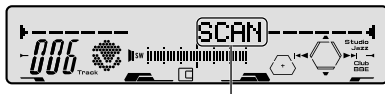
聞きたい曲をさがすとき
(トラックスキャン再生)

再生範囲をグループリピートに切り換えます。再生中のグループの全曲を、約 10 秒ずつ再生することができます。

聞きたいグループをさがすとき
(グループスキャン再生)

再生範囲をディスクリピートに切り換えます。ディスク内の全グループの 1 曲目だけを、約 10 秒ずつ再生することができます。

スキャン再生を初めて約 30 秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に表示されます。

4 聞きたい曲 (グループ) が再生されたらスキャン再生を OFF にする

確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順 2 の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生を OFF にしてください。

スキャンモードのときにセクターを下に操作する



セクターを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

スキャン再生を始めた曲 (またはグループ) まで戻ると、スキャン再生は解除されます。トラックリピートのときに、スキャン再生を ON にすると、再生範囲がグループリピートに切り換わり、スキャン再生します。

2 スキャンモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ



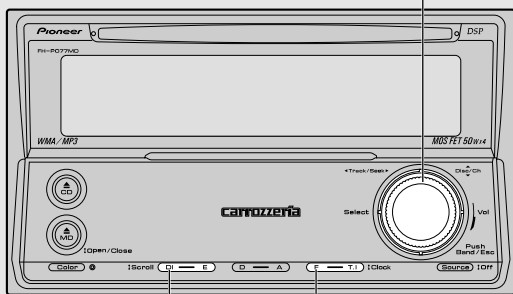
3 スキャン再生を始める

セクターを上にも操作する



曲の始めの約 10 秒間が徐々に再生されます。

ボリューム / セクター



ディスプレイ
DISPLAY ボタン

ファンクション
FUNCTION ボタン

内蔵MD
6

MD再生を 一時停止する

ポーズ

MD再生を一時停止することができます。

1 ポーズモードにする

(内蔵MD② 46ページ)

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

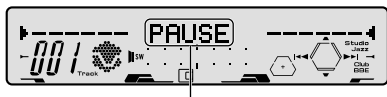


2 MD再生を一時停止する

セクターを上に操作する (下で再生)



セクターを押して、ファンクションモード
を解除してください。



一時停止中に表示されます。

内蔵MD
7

MDのタイトルなど を表示させる

タイトル表示 / タイトルスクロール

再生経過時間以外に、ディスクタイトルやトラックタイトル (曲名) などを表示させることができます。タイトルは一度に8文字まで表示することができます。また、隠れている文字を順に表示 (スクロール表示) させることができます。

タイトル表示について

本機はカナ文字に対応していますので、カナやアルファベットの小文字などがそのまま表示されます。

表示をディスクタイトルおよびトラックタイトル (曲名) に切り換えたときに、自動的に1回スクロール表示します。

エバースクロール設定をONにした場合は、タイトルが繰り返しスクロール表示します。

(便利な機能④ 105ページ)

メモ

ディスクタイトルおよびトラックタイトル (曲名) が入力されていないMDで表示を切り換えると、“NO DATA”が表示されます。

表示切り換え

1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

グループディスク以外の場合
再生経過時間表示

ディスクタイトル (DISC TTL)

トラックタイトル (TRK TTL)

再生経過時間表示に戻る

グループディスクディスクの場合
再生経過時間表示

ディスクタイトル (DISC TTL)

トラックタイトル (TRK TTL)

グループタイトル (Group TTL)

再生経過時間表示に戻る

隠れている文字を表示する

1 隠れているタイトルを表示する (スクロール表示)

DISPLAY ボタンを 2 秒以上押す

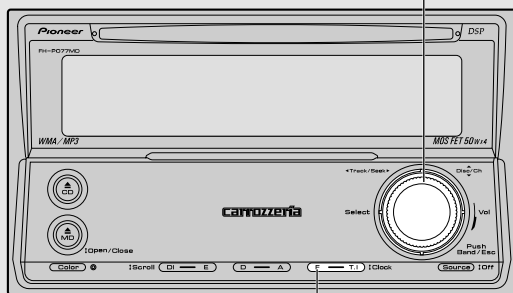


隠れている文字が順番に表示されます。

メモ

初期設定でエバースクロール機能をONにした場合、タイトルが繰り返しスクロール表示します。タイトルの最初の8文字を表示させて、再びスクロールさせたいときは、DISPLAY ボタンを2秒以上押してください。エバースクロールについては(48) 便利な機能(4) 105 ページ)

ボリューム / セレクター

ファンクション
FUNCTION ボタンラジオ
1

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 ファンクションモードにする

FUNCTION ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

BSMモード (BSM)
(ラジオ②)

プリセットメモリーモード (Pch)
(ラジオ③ 54 ページ)

BSMモードに戻る

メモ

ファンクションモードを解除するには、セレクターを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押す
放送局名選択モードになります。
(ラジオ⑤ 56 ページ)

メモ

詳細設定モードを解除するには、セレクターを押します。

複数の放送局を自動的に記憶させる

BSM

受信状態の良い放送局をさがして、自動的に1～6の記憶番号に記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

セレクターを押す

(ここだけで⑤ 24ページ)

記憶が終わると、点滅が止まり、1のボタンに記憶した放送局を受信します。

セレクターを押して、ファンクションモードを解除してください。



受信中の記憶番号

2 BSMモードにする

FUNCTION ボタンを押す

(ラジオ①)



メモ

受信状態の良い放送局が、6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。

BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)の略です。

記憶させた放送局を呼び出すには (ラジオ④ 55ページ)

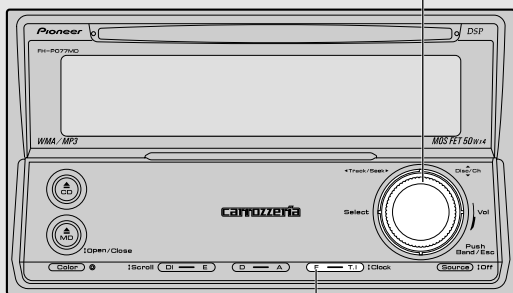
3 BSMを始める

セレクターを上へ操作する (下で途中解除)



記憶動作中に点滅します。

ボリューム / セレクター



ファンクション
FUNCTION ボタン

ラジオ
3

放送局を1局ずつ記憶させる

プリセットメモリー

お好みの放送局を、1局ずつ手で記憶させることができます。

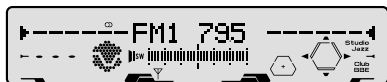
本体で操作する場合

1 記憶させるバンドを選ぶ

セレクターを押す
(※ ここだけで⑤ 24ページ)

2 記憶させたい放送局を選局する

セレクターを左右に操作する
(※ ここだけで⑤ 25ページ)



3 プリセットメモリーモードにする

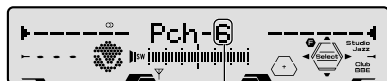
FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(※ ラジオ① 52ページ)



約2秒間表示されます。

4 記憶させる番号を選ぶ

セレクターを左右に操作する
(※ ここだけで⑤ 25ページ)



選んだ番号 (記憶番号) が表示されます。

5 記憶させる

セレクターを上にも2秒以上操作する



選んだ番号に受信中の放送局が記憶されます。

セレクターを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

記憶させた放送局を呼び出すには (※ ラジオ④)

リモコンで操作する場合

1 記憶させるバンドを選ぶ

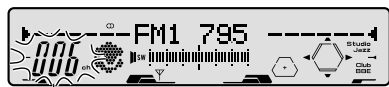
BAND ボタンを押す
(☞ ここだけで ⑤ 24 ページ)

2 記憶させたい放送局を選局する

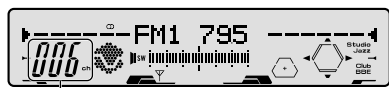
ジョイスティックを左右に操作する
(☞ はじめに ① 9 ページ)

3 記憶させる

1 ~ 6 のボタンの 1 つを 2 秒以上押す



押したボタンの番号 (記憶番号) が点滅します。



記憶が完了すると点滅が終わり、押したボタンに受信中の放送局が記憶されます。

メモ

記憶させた放送局を呼び出すには (☞ ラジオ ④)

ラジオ
4

記憶させた放送局を呼び出す

プリセットチューニング

記憶させた放送局は、簡単に呼び出すことができます。

本体で操作する場合

1 記憶させたバンドを選ぶ

セレクターを押す
(☞ ここだけで ⑤ 24 ページ)

2 記憶させた放送局を呼び出す

セレクターを上下に操作する
上：次の記憶番号の放送局を呼び出すとき
下：前の記憶番号の放送局を呼び出すとき



受信中の記憶番号

リモコンで操作する場合

1 記憶させたバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す
(☞ はじめに ① 9 ページ)

2 記憶させた放送局を呼び出す

記憶させた放送局を直接呼び出す

1 ~ 6 のボタンの 1 つを押す

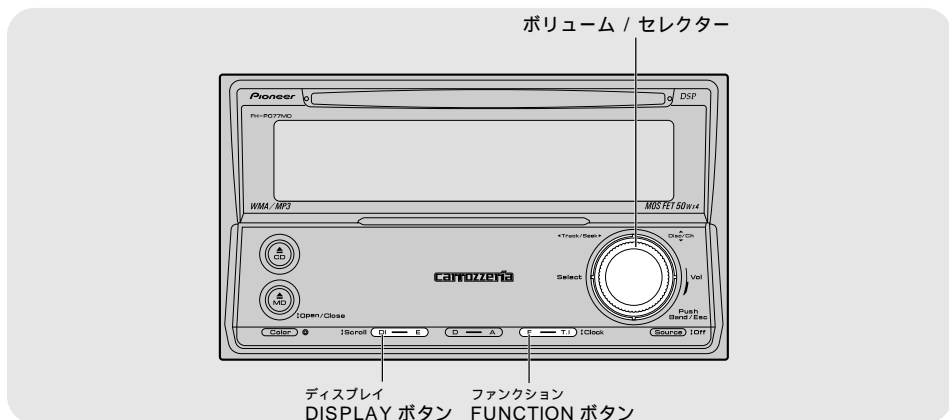
記憶させた放送局を順番に呼び出す

ジョイスティックを上下に操作する

上：次の記憶番号の放送局を呼び出すとき
下：前の記憶番号の放送局を呼び出すとき



受信中の記憶番号



ラジオ 5 放送局名を選ぶ

放送局名選択

ラジオの放送局名を表示させる (☞ ラジオ 6) ために、あらかじめ放送局名を選んでおきます。

放送局名表示について

同じ周波数でも、地域によって受信する放送局は違うことがあります。(例：FM 80.0MHz を使用している放送局は、「TOKYO FM」「FM 青森」「FM 福岡」など複数あります。)

本機には、あらかじめ放送局名が記憶されています。ディスプレイに表示されている放送局名が受信している放送局名と異なるような場合は、放送局名を変更して表示することができます。

1 バンドを選ぶ

セレクターを押す
(☞ ここだけで 24 ページ)

2 放送局を選局する

セレクターを左右に操作する
(☞ ここだけで 25 ページ)

3 放送局名選択モードにする

FUNCTION ボタンを 2 秒以上押す
(☞ ラジオ 1 52 ページ)



約 2 秒間表示されます。

1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

受信周波数表示

放送局名表示

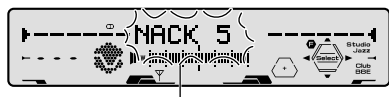
受信周波数表示に戻る

4 放送局名を選ぶ

セレクターを左右に操作する

右：次の放送局名を選ぶとき

左：前の放送局名を選ぶとき



受信中の周波数に該当する放送局名が点滅します。

ご注意

本機に登録されていない放送局名は選べません。

5 放送局名を変更する

セレクターを上にも操作する



セレクターを押して、詳細設定モードを解除してください。

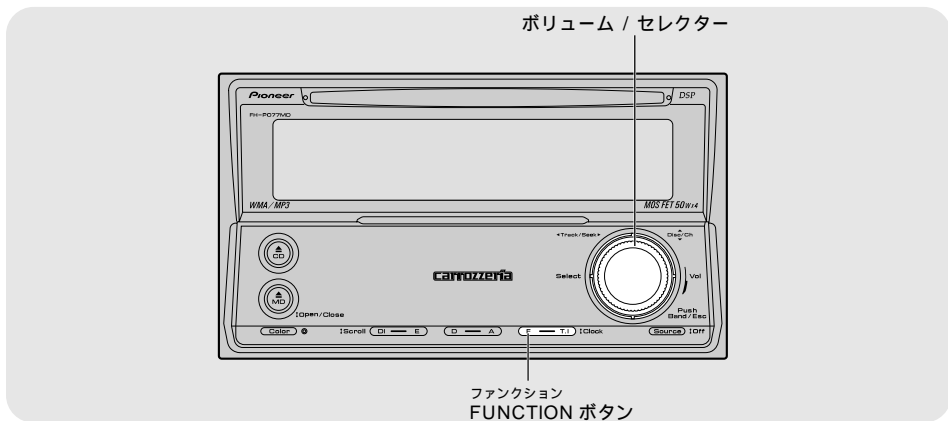
メモ

選んだ周波数に該当する放送局名が登録されていないと、“NO DATA”と表示されます。

放送局名を表示させたくないときは、“-----” (全て空白) を選んでください。

パイオニア製のFMモジュレータータイプのマルチCDをお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせると、放送局名を“FM M-CD”に変更して表示することができます。

パイオニア製のTVをFMモジュレーターでお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせると、放送局名を“FM TV SND”に変更して表示することができます。



マルチCD 1 聞きたいCDを 直接選ぶ

ダイレクトサーチ (ディスク)

リモコンを使って、聞きたいCDを直接選ぶことができます。

1 聞きたいCDを選ぶ

ジョイスティックを上下に操作する

(☞はじめに① 9ページ)

上：次のCDを選ぶとき

下：前のCDを選ぶとき



CD番号

メモ

リモコンの1～6ボタンを押しても、CDを選ぶことができます。

2秒未満：1～6枚目のCDを選ぶとき

2秒以上：7～12枚目のCDを選ぶとき

マルチCD 2 聞きたい曲を 直接選ぶ

ダイレクトサーチ (トラック)

リモコンを使って、今聞いているCDの中の聞きたい曲を直接選ぶことができます。

1 曲番号入力画面を表示する

DIRECT ボタンを押す (☞はじめに① 9ページ)



2 聞きたい曲の番号を入力する

数字ボタンを押す



3 聞きたい曲を再生する

DIRECT ボタンを押す

選んだ曲が再生されます。



メモ

曲番号入力画面は、約8秒間何も操作しないと解除されます。

CLEAR ボタンを押すと、入力した番号を消去することができます。


モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え


1 ファンクションモードを切り換える


FUNCTION ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。


リピートモード
( マルチ CD ④ 60 ページ)

タイトルリストモード
( マルチ CD ⑭ 69 ページ)

ランダムモード
( マルチ CD ⑥ 62 ページ)

スキャンモード
( マルチ CD ⑤ 61 ページ)

ITS再生モード
( マルチ CD ⑧ 64 ページ)

ポーズモード
( マルチ CD ⑬ 69 ページ)

COMP切り換えモード
( マルチ CD ⑫ 68 ページ)

リピートモードに戻る

メモ

ファンクションモードを解除するには、セクターを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

詳細設定モードの切り換え


1 詳細設定モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押す

2 詳細設定モードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

タイトル入力モード ¹
( マルチ CD ⑪ 66 ページ)

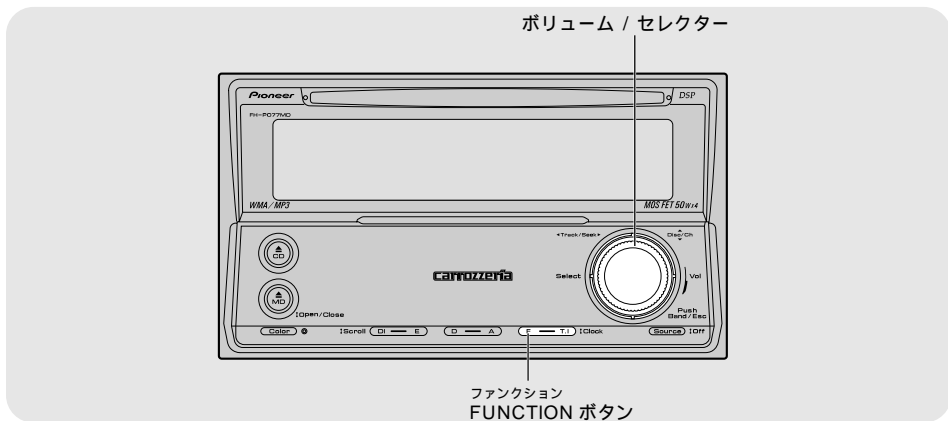
ITS入力モード
( マルチ CD ⑦ 63 ページ)

タイトル入力モードに戻る

メモ

詳細設定モードを解除するには、セクターを押します。

¹「CD TEXT」に対応しているマルチ CD プレーヤー(「CDX-P670」など)で「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力モードに切り換わりません。(「CD TEXT」にあらかじめ収録されているタイトルは変更できません。)



マルチCD 4 同じ曲やCDを繰り返し聞き

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1枚のCDを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

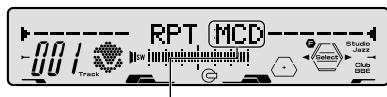
再生範囲について

再生範囲（繰り返し聞く範囲）は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
ディスクリピート	再生中のCDを繰り返し再生します。
マルチCDリピート	マルチCDにセットされているすべてのCDを通して再生します。(通常はこのモードにしておきます。)

2 再生範囲を切り換える

セレクターを左右に操作する
セレクターを操作するごとに次のように切り換わります。



MCD (マルチCDリピート)

TRK (トラックリピート)

DSC (ディスクリピート)

MCDに戻る

セレクターを押して、ファンクションモードを解除してください。



トラックリピートのときは“RPT”、ディスクリピートのときは“Disc”が表示されます。

1 リピートモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(☞ マルチCD ③ 59ページ)



聞きたい曲やCDをさがす

トラックスキャン再生 / ディスクスキャン再生

今聞いているCDの曲の出だし部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、全CDの1曲目の出だし部分だけを次々に聞くこともできます。

1 リピートモードにして 再生範囲を選ぶ (E3 マルチCD④)

聞きたい曲をさがすとき
(トラックスキャン再生)

再生範囲をディスクリピートに切り換えます。再生中のCDの全曲を、約10秒ずつ再生できます。

聞きたいCDをさがすとき
(ディスクスキャン再生)

再生範囲をマルチCDリピートに切り換えます。マルチCD内の全CDの1曲目だけを、約10秒ずつ再生できます。

2 スキャンモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(E3 マルチCD④ 59ページ)



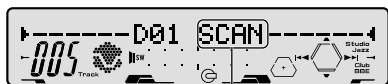
3 スキャン再生を始める

セレクターを上にも操作する



曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に表示されます。

4 聞きたい曲 (CD) が再生されたら スキャン再生をOFFにする

確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順2の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。

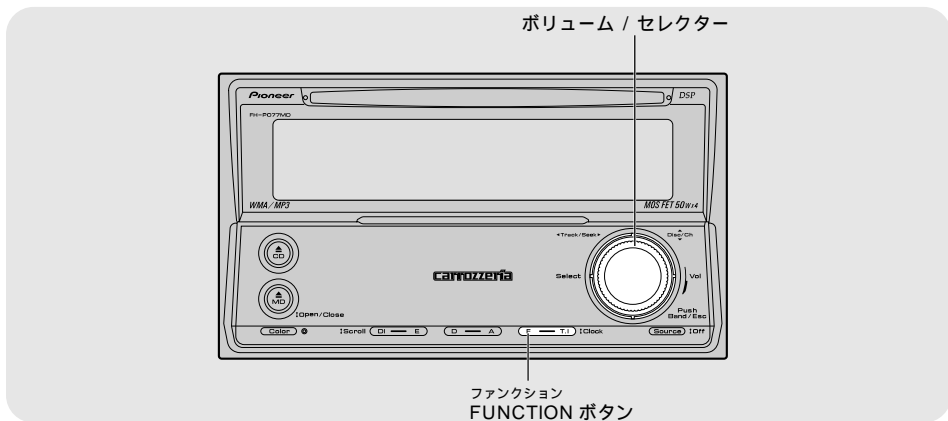
スキャンモードのときにセレクターを下にも操作する



セレクターを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

スキャン再生を始めた曲 (またはCD) まで戻ると、スキャン再生は解除されます。
トラックリピートのときに、スキャン再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わります。



マルチCD 6 いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をマルチCDにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

1 リピートモードにして再生範囲
を選ぶ (E マルチCD 59 ページ)

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

2 ランダムモード
にする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(E マルチCD 59 ページ)



3 ランダム再生を ON にする

セレクターを上 に操作する (下で OFF)



次の曲から、ランダムに選曲します。

セレクターを押して、ファンクションモードを
解除してください。



ランダム再生中に表示されます。

メモ

トラックリピートのときに、ランダム再生を ON にすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わります。

記憶させた曲だけ再生する (☞ マルチCD ⑧ 64ページ) ために、あらかじめ聞きたい曲をマルチCDに記憶させておきます。

ITSについて

ITSとは、Instant Track Selection (インスタントトラックセレクション) の略です。

ITSは、聞きたい曲だけを記憶させておき、それを再生する機能です。

曲の記憶はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。

CD1枚につき99曲まで記憶することができます。(「CDX-P1250」「CDX-P650」以前に発売されたマルチCDでは、記憶できる曲が24曲目までになります。)

ITSは、タイトル (☞ マルチCD ⑩ 66ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

1 記憶させたいCDを再生する

セレクターを上下に操作する

(☞ ここだけで⑥ 26ページ)

2 ITS入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ マルチCD ④ 59ページ)



3 記憶させたい曲を選ぶ

セレクターを左右に操作する

(☞ ここだけで⑥ 26ページ)

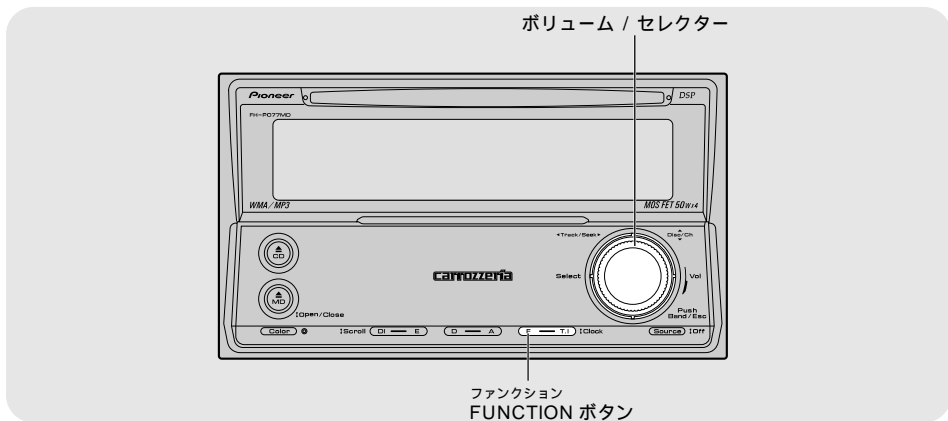
4 記憶させる

セレクターを上を操作する



約2秒間表示され、記憶したことを知らせます。

セレクターを押して、詳細設定モードを解除してください。



マルチCD 8 記憶させた曲だけ再生する

ITS 再生

ITS 記憶 (⑤ マルチCD ⑦ 63 ページ) で記憶させた曲だけを再生することができます。

1 リpeatモードにして再生範囲を選ぶ

(⑤ マルチCD ④ 60 ページ)
選んだ再生範囲内でITS再生が行われます。

2 ITS再生モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(⑤ マルチCD ③ 59 ページ)



3 ITS再生をONにする

セレクターを上(下でOFF)



ITS再生が始まり、記憶させた曲だけが再生されます。

セレクターを押して、ファンクションモードを解除してください。



ITS再生中に表示されます。

メモ

手順1で選んだ再生範囲内に、記憶させた曲がない場合は、「ITSEmpty」が約2秒間表示されて、ITS再生は行われません。

記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す

ITS消去 (1曲ずつ)

記憶させた曲を1曲ずつ消すことができます。

1 ITS再生をONにする

(☞ マルチCD ⑧)

2 消去したい曲を再生する

セレクターを左右に操作する

(☞ ここだけで⑥ 26ページ)

3 ITS入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ マルチCD ⑤ 59ページ)



4 消去する

セレクターを下に操作する



次に記憶されている曲

再生していた曲が記憶から消去され、次に記憶されている曲が再生されます。

セレクターを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

現在の再生範囲内に記憶させた曲がなくなった場合は、“ITSempty” が約2秒間表示されて、ITS再生がOFFになります。

記憶させた曲をCDごとに記憶から消す

ITS消去 (CDごと)

記憶させた曲をCDごとに消すことができます。

1 消去したいCDを再生する

セレクターを上下に操作する

(☞ ここだけで⑥ 26ページ)

ITS再生がONになっているときは、ITS再生をOFFにしてください。(☞ マルチCD ⑧)

2 ITS入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ マルチCD ⑤ 59ページ)



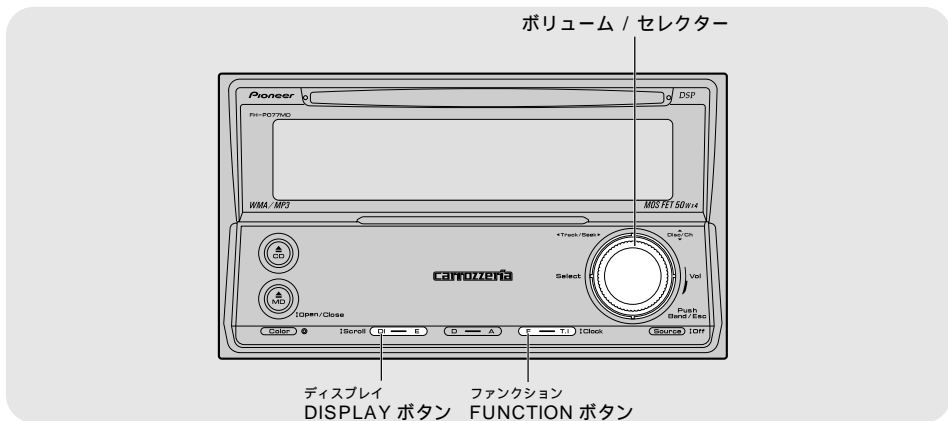
3 消去する

セレクターを下に操作する



約2秒間表示され、消去したことを知らせます。

セレクターを押して、詳細設定モードを解除してください。



マルチCD 11 CDのタイトルを記憶させる

タイトル入力

CDのタイトルを表示させる (※ マルチCD 16 70ページ) ために、あらかじめタイトルを入力して記憶させておきます。

タイトル入力について

タイトル入力は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

CDにタイトルを付けるとタイトルリスト (※ マルチCD 16 69ページ) で聞きたいCDをさがすこともできます。

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) では、「CD TEXT」にあらかじめ収録されているCDタイトルで同様にタイトルリストをすることができます。

タイトルは8文字まで入力できます。

記憶はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。

タイトルは、ITS (※ マルチCD 7 63ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

1 タイトルを入力したいCDを再生する

セレクターを上下に操作する
(※ ここだけで 26ページ)

2 タイトル入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(※ マルチCD 9 59ページ)



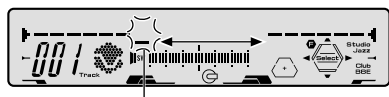
約2秒間表示されます。

ご注意

「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー (「CDX-P670」など) に「CD TEXT」をセットしているときは、タイトル入力モードには切り換わりません。(「CD TEXT」にあらかじめ収録されているCDタイトルは変更できません。)

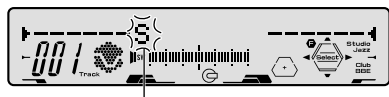
3 タイトルを入力する

入力する位置を選ぶとき
 セクターを左右に操作する
 右：右に移動させるとき
 左：左に移動させるとき



入力する位置でカーソルが点滅します。

入力する文字を選ぶとき
 セクターを上下に操作する
 上：次の文字を選ぶとき
 下：前の文字を選ぶとき



選んだ文字が点滅します。

文字の種類を変更するとき

DISPLAY ボタンを押す

DISPLAY ボタンを押すごとに文字の種類は次のように切り換わります。

アルファベットの大文字 (A ~ Z)、数字 (0 ~ 9)、記号 (!、#、& など)、空白 (_)

アルファベットの小文字 (a ~ z)、空白 (_)

数字 (0 ~ 9)、記号 (!、#、& など)、空白 (_)

カタカナ (ア～ン)、音引き (-)、空白 (_)

拗促音 (ア、ヨ、ツ など)、濁点、半濁点、空白 (_)

アルファベットの大文字に戻る

4 入力が終わったら 8文字目を点滅させる



余ったところを空白にして、8文字目を点滅させます。

5 入力したタイトルを記憶する

セクターを右に操作する

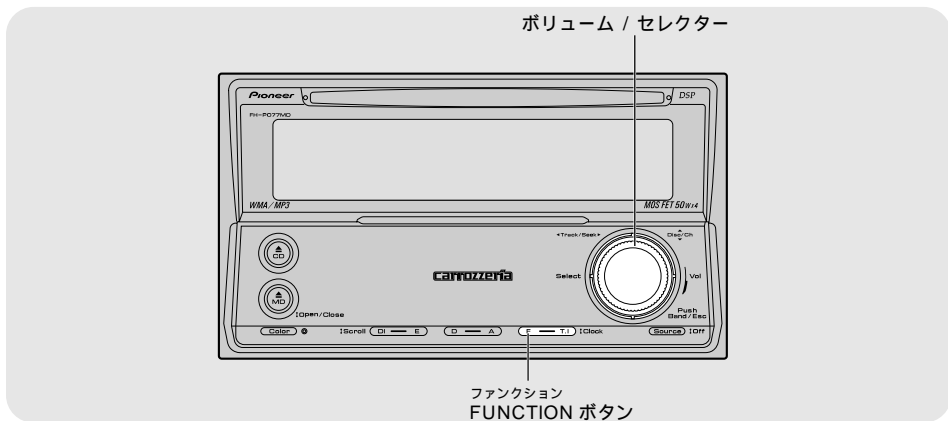


入力位置の点滅が終わり、入力したタイトルが記憶されます。

セクターを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

タイトル入力中 (文字が点滅しているとき) にセクターを押すと、詳細設定モードが途中で解除されます。(この場合、入力中のタイトルは記憶されません。)



マルチCD 12 CDの音質を調節する

COMP / DBE

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりすることができます。

チェック COMP/DBE機能の付いたマルチCDプレーヤーで操作できます。

COMPについて

COMPとは、COMPRESSION (コンプレッション) の略です。コンプレッションは、大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

DBEについて

DBEとは、Dynamic Bass Emphasis (ダイナミック バス エンファシス) の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

1 COMP切り換えモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(マルチCD 59 ページ)



ご注意

COMP/DBE機能のないマルチCDを組み合わせたときは、“NO COMP”が表示されて、操作できません。

2 機能を選ぶ

セクターを上下に操作する
セクターを操作するごとに次のように切り換わります。

COMP OFF COMP 1 COMP 2

DBE 2 DBE 1 COMP OFF



現在のCOMP/DBEの状態が表示されます。

セクターを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ



COMP、DBEともに1より2の方が効果が大きくなります。

CD再生を一時停止する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

1 ポーズモードにする

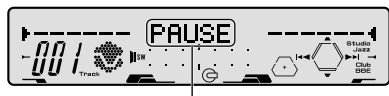
FUNCTION ボタンを押して選ぶ
( マルチCD  59 ページ)

2 CD再生を一時停止する

セレクターを上にも操作する(下で再生)



セレクターを押して、ファンクションモードを解除してください。





一時停止中に表示されます。

タイトルを見て聞きたいCDをさがす

タイトルリスト

CDのタイトルを見ながら、聞きたいCDを選ぶことができます。

1 タイトルリストモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
( マルチCD  59 ページ)

約2秒間表示されます。

2 聞きたいCDを選ぶ

セレクターを左右にも操作する

右：次のCDのタイトルを表示させるとき
左：前のCDのタイトルを表示させるとき

CD番号が記憶されているタイトルの点滅します。5文字目まで表示されます。

3 選んだCDを再生する

セレクターを上にも操作する

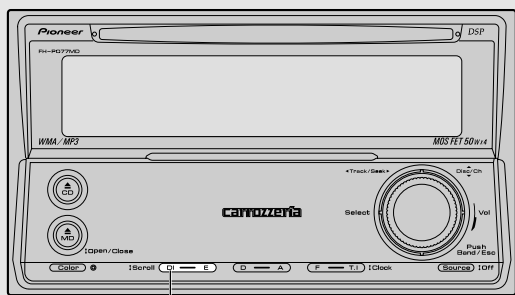


選んだCDが再生されます。

セレクターを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

タイトルが入力されていないCDを選んだときは、CD番号だけが表示されます。



ディスプレイ
DISPLAY ボタン

マルチCD 15 CDのタイトルなどを表示させる

ディスクタイトル表示

タイトル入力 (E3) マルチCD (1) 66 ページ) で入力したCDのタイトルを表示させることができます。

1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

再生経過時間表示

ディスクタイトル (DISC TTL)

再生経過時間表示に戻る

メモ

タイトルが入力されていないCDで表示を切り換えると、“NO TITLE”が表示されます。

マルチCD 16 「CD TEXT」のタイトルや歌手名を表示させる

タイトル表示 / タイトルスクロール

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) に「CD TEXT」をセットしたとき、ディスクタイトルやトラックタイトルなどを表示させることができます。一度に8文字まで表示することができます。また、隠れている文字も順に表示させることができます。

チェック 「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) の機能です。

「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記のマークの付いているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)



タイトル表示について

本機の「CD TEXT」文字表示は、英数字のみに対応しています。

表示切り換え

1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

再生経過時間表示

ディスクタイトル (DISC TTL)

ディスクアーティストネーム (DISC ART)

トラックタイトル (TRK TTL)

トラックアーティストネーム (TRK ART)

再生経過時間に戻る

メモ

トラックアーティストネーム (歌手名) などが収録されていないCDで表示を切り換えると、“NO NAME” などが表示されます。

隠れている文字を表示する

1 隠れているタイトルを表示する

DISPLAY ボタンを 2 秒以上押す

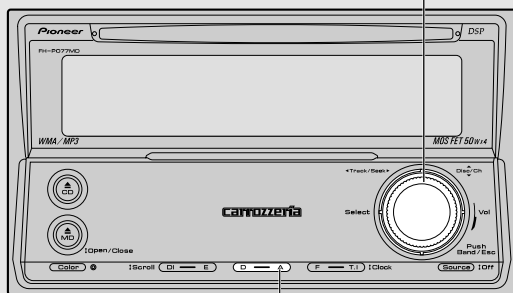


隠れている文字が順番に表示されます。

メモ

初期設定でエバースクロール機能をONにした場合、タイトルが繰り返しスクロール表示します。タイトルの最初の8文字を表示させて、再びスクロールさせたいときは、DISPLAY ボタンを2秒以上押してください。エバースクロールについては(83) 便利な機能(1) 105 ページ)

ボリューム / セレクター

オーディオ
AUDIO ボタン

音の調節

1

オーディオ調節モードの切り換えかた

音を調節するときは、オーディオ調節モードを切り換えて操作します。

1 オーディオ調節モードを切り換える

AUDIO ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

音量バランス調節モード
(音の調節②)

ラウドネスモード
(音の調節③)

サブウーファーモード
(音の調節④ 74ページ)

サブウーファー調節モード 1
(音の調節④ 74ページ)

サブウーファースロープ調節モード 1
(音の調節④ 74ページ)

ハイパスフィルターモード (フロント)
(音の調節⑤ 76ページ)

ハイパスフィルター調節モード (フロント)
(音の調節⑤ 76ページ)

ハイパスフィルターモード (リア)
(音の調節⑤ 76ページ)

ハイパスフィルター調節モード (リア)
(音の調節⑤ 76ページ)

音量バランス調節モードに戻る

メモ

オーディオ調節モードを解除するには、セレクターを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)


¹サブウーファーモード (音の調節④ 74ページ) をOFFにした場合は、サブウーファー調節モード、サブウーファースロープ調節モードには切り換わりません。

前後左右の音量 バランスを調節する

フェーダー / バランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

1 音量バランス調節 モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ
( 音の調節①)



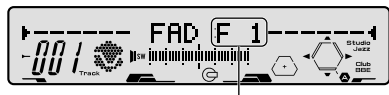
2 音量バランスを調節する

前後を調節する

セレクターを上下に操作する

上：前を強めるとき

下：後ろを強めるとき



前後のバランスは F25 ~ R25 の範囲で調節
できます。

左右を調節する

セレクターを左右に操作する

右：右を強めるとき

左：左を強めるとき



左右のバランスは L25 ~ R25 の範囲で調節
できます。


セレクターを押して、オーディオ調節モードを
解除してください。

小音量時の音に メリハリをつける

ラウドネス

小さな音量で聞いているときの、低・高音
の不足感を補正して、メリハリのある音に
することができます。

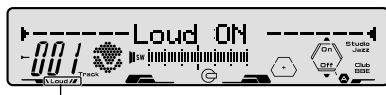
1 ラウドネスモードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ
( 音の調節①)



2 ラウドネスを ON にする

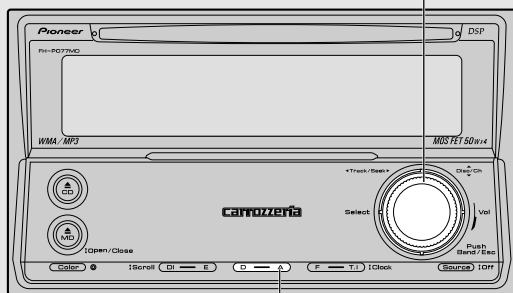
セレクターを上にも操作する (下で OFF)



ラウドネスが ON のときに表示されます。

セレクターを押して、オーディオ調節モードを
解除してください。

ボリューム / セレクター

オーディオ
AUDIO ボタン

音の調節

4

サブウーファーを使う

サブウーファー

本機では、RCA出力端子に接続したサブウーファーの調節を行うことができます。(この機能は、初期設定ではOFFになっています。)

位相切り換えについて

サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域のものが含まれています。車内条件により、これらの音の位相どうしが反転(干渉)すると、その周波数帯域が打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐものが、サブウーファーの位相切り換えです。車内条件によって、位相の正相(フロント/リアスピーカーと同時に出力される)が良いか、逆相(フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力される)が良いかを選んで設定してください。

カットオフ周波数について

選んだ周波数以下の音域がサブウーファーから出力されます。

スロープについて

スロープ(減衰の傾き)を調節することにより、サブウーファーとフロント/リアスピーカーの音のつながりを調整することができます。

1 サブウーファーモードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ

(※音の調節① 72 ページ)



2 サブウーファーをONにする

セレクターを上にも操作する(下でOFF)



サブウーファーがONのときに表示されます。

3 位相を切り換える

セレクターを左右に操作する

右 : Phase:NOR (正相)

左 : Phase:REV (逆相)



REVとNORに切り換えることができます。

4 サブウーファー調節モードにする

AUDIO ボタンを押す



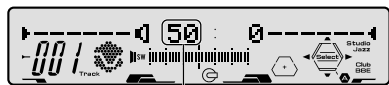
5 カットオフ周波数とレベルを調節する

周波数を選ぶとき

セレクターを左右に操作する

右 : 高い周波数を選ぶとき

左 : 低い周波数を選ぶとき



50、63、80、100、125、160、200 (Hz) の中から選ぶことができます。

レベルを調節するとき

セレクターを上下に操作する

上 : レベルを大きくするとき

下 : レベルを小さくするとき



レベルは - 24 ~ + 6 の範囲で調節できます。

6 サブウーファースロープ調節モードにする

AUDIO ボタンを押す



7 スロープを調節する

セレクターを左右に操作する

右 : スロープの値を小さくするとき

左 : スロープの値を大きくするとき



スロープは6、12、18 (dB/oct.)の中から選ぶことができます。

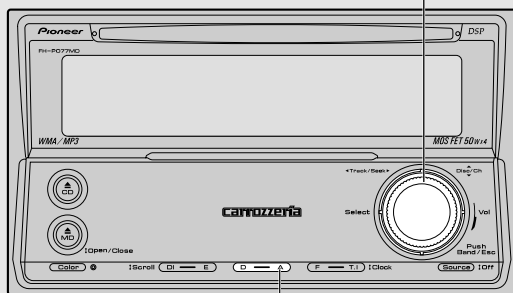
セレクターを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

RCA 外部出力の設定 (便利な機能 103 ページ) を "P/O:Rear" にした場合は、サブウーファー機能はON/OFFできません。

サブウーファー機能をOFFにした場合は、サブウーファー調節モード、サブウーファースロープ調節モードには切り換わりません。

ボリューム / セレクター

オーディオ
AUDIO ボタン

音の調節

5

低い音をスピーカーから出力させない

ハイパスフィルター (HPF)

ハイパスフィルターを使うと、選んだ周波数より低い周波数の音が各スピーカーから出力されなくなります。

ハイパスフィルター (HPF) について

ハイパスフィルターは、設定した周波数から下の音域 (低域) をカットして、高域を通すフィルターです。ハイパスフィルターを設定することにより、サブウーファーとの音のつながりを調節することができます。フロントスピーカーとリアスピーカーで別々に調節することができます。

スロープについて

スロープ (減衰の傾き) を調節することにより、サブウーファーとフロント/リアスピーカーの音のつながりを調整することができます。

スロープを 0 dB/oct. (Pass) に設定すると、オーディオ信号はフィルター回路を回避するため、ハイパスフィルターは効果がなくなります。

カットオフ周波数について

選んだ周波数より高い音域が各スピーカーから出力されます。

ミュートについて

フロント / リアスピーカー (フィルター) をミュートすることができます。ミュートしたスピーカーからは、音が出なくなります。

1

ハイパスフィルター
モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ

(※ 音の調節 72 ページ)

FrontHPF : フロントスピーカーを調節するとき

RearHPF : リアスピーカーを調節するとき



リアスピーカーを調整するときは“RearHPF”を表示させます。

“FrontHPF”および“RearHPF”の表示は約1秒で消え、手順2のスロープ調整の画面に自動で切り換わります。

2 スロープを調節する

セクターを左右に操作する
 右：スロープの値を小さくするとき
 左：スロープの値を大きくするとき



0、6、12の中から選ぶことができます。

4 ハイパスフィルターの カットオフ周波数を選ぶ

セクターを左右に操作する
 右：高い周波数を選ぶとき
 左：低い周波数を選ぶとき

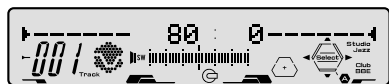


50、63、80、100、125、160、200 (Hz) の
 中から選ぶことができます。

選んだ周波数より高い周波数の音だけが、各
 スピーカーから出力されます。

3 ハイパスフィルター調整 モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ
 (音の調節 72 ページ)



5 ハイパスフィルターの レベルを調節する

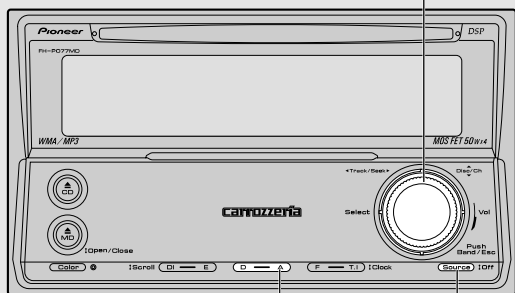
セクターを上下に操作する
 上：レベルを大きくするとき
 下：レベルを小さくするとき



レベルは -24 ~ 0 の範囲で調節できます。

セクターを押して、オーディオ調節モードを
 解除してください。

ボリューム / セレクター

オーディオ
AUDIO ボタンソース
SOURCE ボタン音の調節
5

低い音をスピーカーから出力させない (つづき)

ハイパスフィルター (HPF)

ミュートをかける

1 ハイパスフィルター
モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ

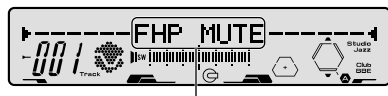
(音の調節 ① 72 ページ)

FrontHPF : フロントスピーカーをミュートするとき

RearHPF : リアスピーカーをミュートするとき

リアスピーカーをミュートするときは
“RearHPF” を表示させます。“FrontHPF” および “RearHPF” の表示は
約1秒で消え、スロープ調整の画面に自動で
切り換わります。

2 ミュートをONにする

セレクターを下に2秒以上操作する
(上でOFF)リアスピーカーのミュートをONにしたとき
は、“RHP MUTE” が表示されます。セレクターを押して、オーディオ調節モード
を解除してください。

メモ

ミュートをONにした場合は、ハイパスフィルター
調節モードには切り換わりません。

各ソースの音量の違いをそろえる

SLA

ソースを切り換えたとき音量に違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます。

1 FM放送を受信し、FMの音量を確かめる

SOURCE ボタンを押す
(ここだけで⑤ 24 ページ)

2 調節したいソースに切り換える

SOURCE ボタンを押す
(ここだけで① 16 ページ)

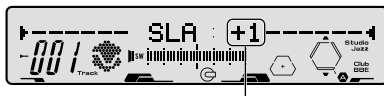
3 SLA モードにする

AUDIO ボタンを 2 秒以上押す



4 レベルを調節する

セレクトターを上下に操作する
上：レベルを大きくするとき
下：レベルを小さくするとき



- 4 ~ + 4 の範囲で調節できます。

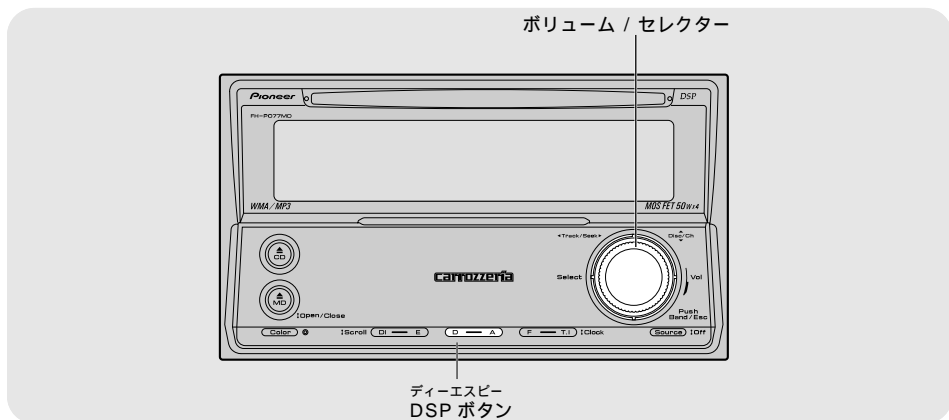
セレクトターを押して、SLA モードを解除してください。

メモ

SLAとはSource Level Adjuster (ソース レベル アジャスター) の略です。

FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMを聞いているときは、SLAモードに切り換えることはできません。

AM、テレビ、CD、MD、AUX (外部機器)、エクスターナルユニットのそれぞれの音量差を調節することができます。なお、内蔵CDとマルチCD、エクスターナル1とエクスターナル2、およびAMと交通情報 (便利な機能③ 97 ページ) は同じ設定になります。



DSP 調節
1

DSP 調節モードの切り換えかた

DSP の機能を使って音場と音質を調節するときは、DSP 調節モードを切り換えて操作します。

1 DSP 調節モードを切り換える

DSP ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

グラフィックイコライザーモード
(DSP 調節 ②)

イコライザー調節モード
(DSP 調節 ④ 83 ページ)

リスニングポジションセレクターモード
(DSP 調節 ⑤ 84 ページ)

タイムアライメントモード
(DSP 調節 ⑥ 85 ページ)

タイムアライメント調節モード
(DSP 調節 ⑦ 86 ページ)

オートイコライザーモード
(DSP 調節 ⑧ 87 ページ)

SFC モード
(DSP 調節 ⑨ 88 ページ)

ASL モード
(DSP 調節 ⑩ 90 ページ)

グラフィックイコライザーモードに戻る

メモ

DSP 調節モードを解除するには、セレクターを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

音楽に合った音質を設定する

グラフィックイコライザー

あらかじめ用意されたイコライザーカーブの中からお好みのイコライザーカーブを選ぶことができます。

CTM (CUSTOM) について

“CTM1” と “CTM2” は、お好みに合わせて調節することができます。

( DSP 調節④ 83 ページ)

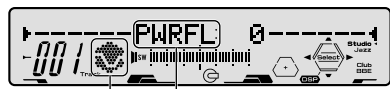
FLAT について

イコライザーによる音の補正はされていません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えることで、設定したイコライザーカーブの効果を確認することができます。

1 グラフィックイコライザーモードにする

DSP ボタンを押して選ぶ

( DSP 調節①)



現在のイコライザーカーブが表示されます。

2 イコライザーカーブを切り換える

セレクターを左右に操作する

セレクターを操作するごとに次のように切り換わります。

PWRFL
(POWERFUL)

NTRL
(NATURAL)

VOCAL

S-Bas
(SUPER BASS)

FLAT


CTM2 (CUSTOM2)

CTM1 (CUSTOM1)

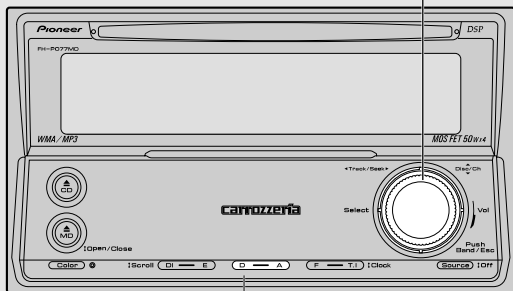


セレクターを押して、DSP 調節モードを解除してください。

メモ

交通情報 ( 便利な機能⑤ 97 ページ) を受信しているときは、イコライザーカーブを選ぶことはできません。

ボリューム / セクター



ディーエスピー
DSP ボタン

DSP 調節
3

イコライザーカーブを大まかに補正する

ニュアンスコントロール

呼び出したイコライザーカーブは、全体的なバランスはくずさずに、大まかに強めたり弱めたりすることができます。

1 グラフィックイコライザーモードにする

DSP ボタンを押して選ぶ
(DSP 調節 ① 80 ページ)



2 補正したいイコライザーカーブに切り換える

(DSP 調節 ② 81 ページ)

セクターを左右に操作する

ご注意

FLAT および、すべての周波数が“0”に設定されている CUSTOM1、2 を補正することはできません。



3 イコライザーカーブを補正する

セクターを上下に操作する
上：効果を強めるとき
下：効果を弱めるとき



- 5 ~ + 6 の範囲で調節できます。

(S-Bas と CTM1、2 は - 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。ただし、CTM に記憶されているカーブによっては、調節できる範囲が狭くなることがあります。)

セクターを押して、DSP 調節モードを解除してください。

イコライザーカーブを細かく調節する

イコライザー調節

お好みに合わせて、イコライザーカーブの周波数レベルを細かく調節することができます。調節した内容は自動的に記憶されます。

CTM1 について

“CTM1”には、お好みに合わせて調節したイコライザーカーブがソースごとに記憶されます。(内蔵CDとマルチCD、およびエクスターナル1とエクスターナル2は同じ設定になります。)また、一度も調節をしていないソースでは、最後に他のソースで調節した内容が呼び出されます。

“CTM2”以外のカーブを選んでいるときに調節すると、調整したカーブが“CTM1”に記憶されます。

CTM2 について

“CTM2”は、すべてのソースに共通したイコライザーカーブです。お好みに合わせて調節することができます。

“CTM2”を選んでいるときに調節すると、調節したカーブが新しい“CTM2”として記憶されます。

1 グラフィックイコライザーモードにする

DSP ボタンを押して選ぶ

( DSP 調節 80 ページ)



2 調節したいイコライザーカーブを選ぶ

セレクターを左右に操作する

( DSP 調節 81 ページ)



3 イコライザー調節モードにする

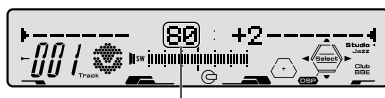
DSP ボタンを押す



4 各周波数ごとのレベルを調節する

周波数を選ぶ

セレクターを左右に操作する



周波数は、次の中から選べます。

50、80、125、200、315、500、800
1.25k、2.0k、3.15k、5.0k、8.0k、12.5k (Hz)

レベルを調節する

セレクターを上下に操作する

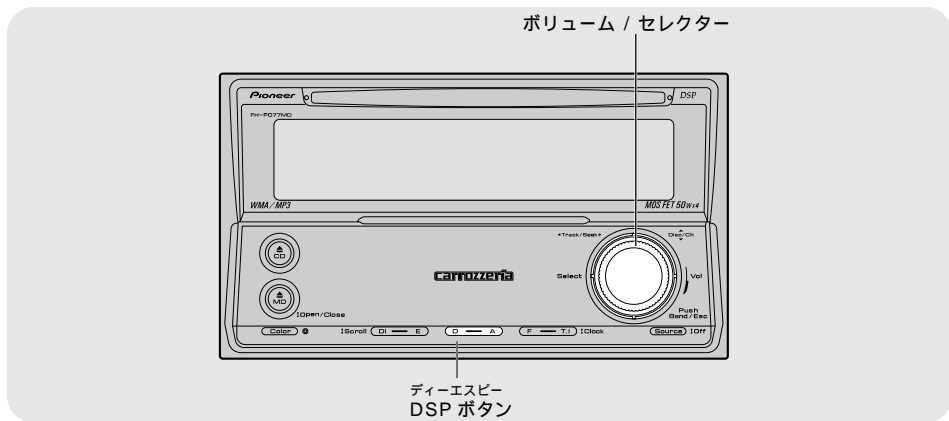
上：効果を強めるとき

下：効果を弱めるとき



“Custom” が表示されます。 レベルは -6 ~ +6 の範囲で調節できます。

セレクターを押して、DSP 調節モードを解除してください。



DSP 調節
5

音場の中心で聞く

リスニングポジションセクター

乗車位置や人数に合わせて、聞く位置を選ぶことができます。

リスニングポジションセクターについて



リスニングポジションセクターは、座席位置や人数に合わせて、自動的に各スピーカーから出る音の遅延時間とレベルが調節される機能です。この機能により、どの座席位置でも自然な音響特性が得られます。

乗車位置について



Front-R



Front-L



Front



All

表示	乗車位置
Front-R	右ハンドル車に運転者のみがいるとき
Front-L	左ハンドル車に運転者のみがいるとき
Front	同乗者が助手席にいるとき
All	同乗者が後部座席にいるとき

DSP 調節 6 タイムアライメントを選ぶ

タイムアライメント

リスニングポジションセクター (つづき)

3種類のタイムアライメントの中から、お好みのタイムアライメントを選ぶことができます。

1 リスニングポジションセクターモードにする

DSP ボタンを押して選ぶ
(DSP 調節 ① 80 ページ)



タイムアライメントについて

タイムアライメントは、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調節することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調節する機能です。

1 タイムアライメントモードにする

確認

リスニングポジションセクターモードで“Front-L”か“Front-R”を選んでいないと、タイムアライメントの調節をすることはできません。

DSP ボタンを押して選ぶ
(DSP 調節 ① 80 ページ)



2 乗車位置を選ぶ

セクターを上下左右に操作する
セクターを同じ方向に操作することに ON/OFF します。

右 : Front-R
左 : Front-L
上 : Front
下 : All



選んだ乗車位置が表示されます。

ポジションマークが表示されます。

セクターを押して、DSP 調節モードを解除してください。

メモ

リスニングポジションごとに、音量バランス (音の調節 ② 73 ページ) を記憶させることができます。

2 タイムアライメントを選ぶ

セクターを左右に操作する
セクターを操作することに次のように切り換わります。

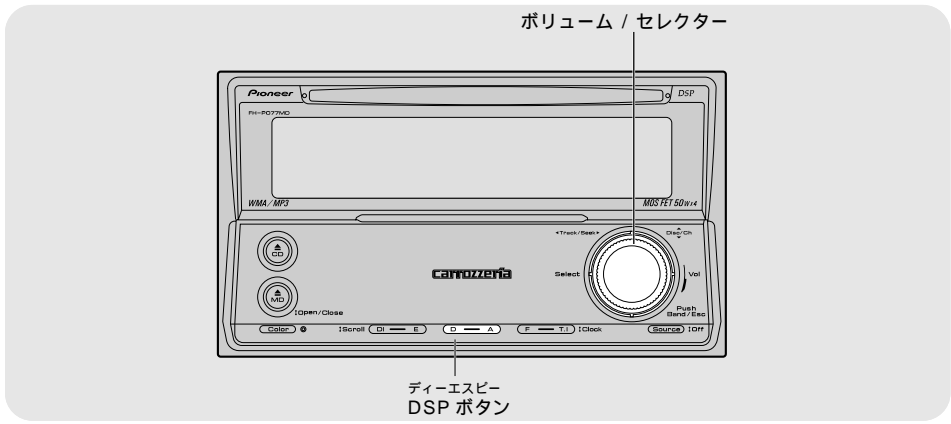
Initial	初期設定状態 (ご購入直後の状態)
Auto TA	Auto TA&EQ で作成したもの (DSP 調節 ② 93 ページ)
Custom	お好みに合わせて調節したもの
TA OFF	タイムアライメント OFF

Initial に戻る

セクターを押して、DSP 調節モードを解除してください。

メモ

Auto TA&EQ を行っていないときは、“Auto TA” を選ぶことはできません。



DSP 調節
7

タイムアライメントを調節する

タイムアライメント調節

タイムアライメントを厳密に調節することができます。

1 調節の元になる タイムアライメントを選ぶ

(DSP 調節 80 ページ)

2 タイムアライメント調節 モードにする

DSP ボタンを押して選ぶ

(DSP 調節 80 ページ)



3 各スピーカーの距離を 調節する

調節するスピーカーを選ぶ

セレクターを左右に操作する

セレクターを操作するごとに次のように切り換わります。

F-L (フロントレフトスピーカー)

F-R (フロントライトスピーカー)

R-R (リアライトスピーカー)

R-L (リアレフトスピーカー)

SW (サブウーファー)

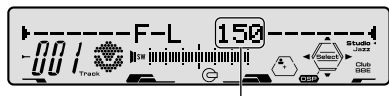
F-Lに戻る

距離を調節する

セレクターを上下に操作する

上：距離を遠くするとき

下：距離を近くするとき



0 cm ~ 400 cm の範囲で調節できます。

セレクターを押して、DSP 調節モードを解除してください。

メモ

タイムアライメント機能を OFF にした場合は、タイムアライメント調節モードには切り換わりません。

DSP 調節 8

オートイコライザー を ON/OFF する

Auto EQ

Auto TA&EQ (オートタイムアライメント&イコライジング)で作成した、オートイコライザーカーブを ON/OFF することができます。

1 オートイコライザー モードにする

DSP ボタンを押して選ぶ

(DSP 調節 ① 80 ページ)

2 オートイコライザーを ON にする

セレクターを上にも操作する (下で OFF)

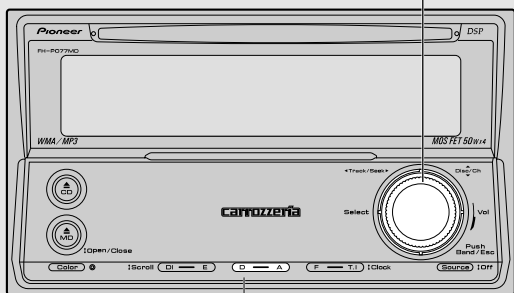


セレクターを押して、DSP 調節モードを解除してください。

メモ

Auto TA&EQ (DSP 調節 ② 93 ページ) を行っていないときは、オートイコライザーモードの操作はできません。

ボリューム / セレクター



ディーエスピー
DSP ボタン

DSP 調節

9

イメージに合った演奏会場を再現する

SFC / BBE

SFC で実際にその演奏会場にいるかのようなリアルな音場を再現することができます。また、BBE ではレベルの調節をすることができます。

SFC について

SFCとはSound Field Control (サウンドフィールドコントロール)の略です。SFCは、車室内にリアルな音場を再現することができます。StudioやCLUBなど、3つの音場空間を再現するプログラムが用意されています。

BBE について

BBEは、音楽再生時に発生する高調波成分の遅延、振幅の狂いを位相補正と高域ブーストを組み合わせて修復することで、極めて原音に近い再生音にすることができます。このため、鮮明度が高く、ライブ演奏に近い自然な臨場感を再現することができます。

2

音場プログラムを選ぶ

セレクターを左右に操作する
セレクターを操作するごとに次のように切り換わります。

- | | |
|---------|----------|
| SFC OFF | Studio |
| | JazzClub |
| BBE | CLUB |



音場プログラムを選ぶと表示されます。

1

SFC モードにする

DSP ボタンを押して選ぶ
(DSP 調節 ① 80 ページ)



セレクターを押して、DSP 調節モードを解除してください。

手順2でBBEを選んだとき

3 BBEのレベルを調節する

セレクターを上下に操作する

上：レベルを大きくするとき

下：レベルを小さくするとき



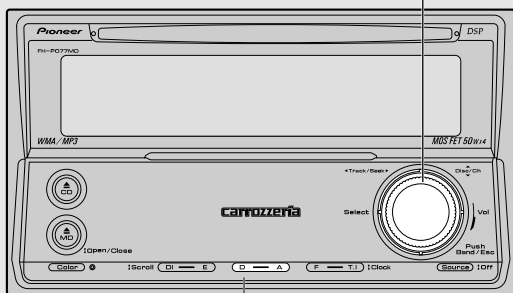
レベルは - 4 ~ + 4 の範囲で調節できます。

セレクターを押して、DSP 調節モードを解除してください。

メモ

この製品はBBEサウンド・インコーポレーテッドからの実施権に基づき製造されています。この製品は米国BBE社の所有する特許USP4638258と4482866を使用しています。BBEとBBEのシンボルは、BBE Sound, Inc. の登録商標です。

ボリューム / セレクター



ディーエスピー
DSP ボタン

DSP 調節 10 騒音に合わせて音量を変える

ASL

騒音に合わせて、自動的に音量が変わるようにすることができます。

ASL について

ASLとは、Automatic Sound Levelizer (オートマッチック サウンド レベライザー) の略です。

ASLは、走行速度や道路状況によって変化する車内の騒音を検出して、騒音が大きくなると自動的に音量を大きくする機能です。

3 ASLの感度を選ぶ

セレクターを左右に操作する

右：感度を高くするとき

左：感度を低くするとき



LOW、MidL、MID、MidH、HIGHの中から選ぶことができます。

1 ASLモードにする

DSP ボタンを押して選ぶ

(DSP 調節 ① 80 ページ)



セレクターを押して、DSP 調節モードを解除してください。

2 ASLをONにする

セレクターを上に表示する (下でOFF)



ASLがONのときに表示されます。ASLの効果量は、効果量インジケータで表示されます。(便利な機能 ⑩ 106 ページ)

メモ

音量が十分にあるときは、騒音が大きくても、音量の上げ幅は小さくなります。この機能が働いて音量が上がすぎたとき、音が歪むことがあります。そのときはローターボリュームで音量を下げてください。

オートタイムアライメント & イコライジングを行う前に

Auto TA&EQ

Auto TA&EQ (オートタイムアライメント & イコライジング) を行う前に必ずお読みください。



警告

走行中に Auto TA&EQ を行わない



自動車が行走中に Auto TA&EQ を行わないでください。Auto TA&EQ 機能は車室内の音響特性を測定するために、スピーカーから大音量の計測音を出すことがあります。この場合、運転の妨げになり事故の原因となることがあります。

スピーカー破損防止について

次の状態で Auto TA&EQ を行うと、スピーカーが破損する恐れがあります。Auto TA&EQ を行う前に、よく確認してください。

スピーカーの接続を誤っている場合

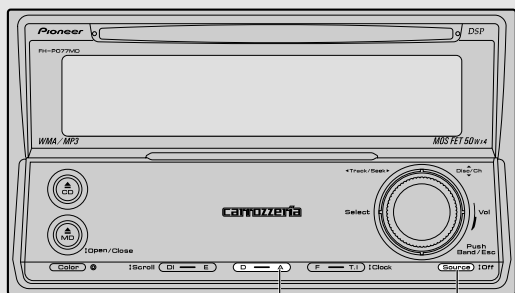
(例：サブウーファー出力にリアスピーカーを接続している場合)

スピーカーの耐入力を超える出力のパワーアンプを接続している場合

Auto TA&EQ 機能について

車室内空間は、その広さや複雑な形状、材質により、ホームオーディオに比べ、一般的に音響特性が大きく乱れています。このような車室内の音響特性を補正するためにイコライザーを使用しますが、測定器などを使用せずに設定するのはかなり困難な作業になります。

本機の Auto TA&EQ 機能は、車室内の音響特性を自動的に測定し、そのデータに基づいて、車室内の音響特性が乱れの少ない滑らかな特性に近づくように自動的に補正します。(イコライザーカーブを呼び出したときは、Auto TA&EQ により乱れの少ない滑らかな特性になった上でイコライザーカーブが設定されますので、より効果的になります。) また、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を自動的に測定し、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調節します。

オーディオ
AUDIO ボタン ソース
SOURCE ボタンDSP 調節
11オートタイムアライメント &
イコライジングを行う前に

(つづき)

Auto TA&EQ

Auto TA&EQを行う前にお読みください

Auto TA&EQは、なるべく静かな所で、車のエンジンおよびエアコンやヒーターを止めて行ってください。また、携帯電話や自動車電話などを車載している場合は、電話を車外へ持ち出すか電源を切ってから Auto TA&EQを行ってください。計測音以外の音(車周辺の騒音、エンジン音、電話の着信音など)によって、車室内の音響特性が正しく測定できないことがあります。

Auto TA&EQは、必ず付属のマイクを使用して行ってください。付属のマイク以外のマイクでは、Auto TA&EQが実行できなかったり、車室内の音響特性が正しく測定できません。

フロントスピーカーが接続されていない場合、またはミュートをONにしている場合は、Auto TA&EQが実行できません。

入力レベルコントロール付きのパワーアンプを接続している場合、パワーアンプの入力レベルコントロールを下げておくと、Auto TA&EQが実行できない場合があります。パワーアンプの入力レベルコントロールは推奨位置に合わせてください。

ローパスフィルター付きのパワーアンプを接続している場合、パワーアンプのローパスフィルターはOFFにして測定してください。また、パワードサブウーファー内蔵のローパスフィルターは、カットオフ周波数を最も高い周波数に設定してください。

Auto TA&EQ測定時に算出したタイムアライメントの値は、次の場合に実際の距離と異なることがあります。計測状況によりコンピューターが算出した正確な遅延時間をもとに設定された距離です。そのままの値でご使用ください。

- * 車室内の反射音が直接音より強く、かつ遅延を生じている場合。
- * パワードサブウーファーや外部アンプのローパスフィルターの影響により、低音に遅延が生じている場合。

Auto TA&EQを行うと、各モードの内容が次のように変更されます。

- * 前後左右の音量バランス調節(フェーダー/バランス)の設定がリセットされ、初期設定に戻ります。
- * イコライザーカーブは、フラット(FLAT)になります。
- * リスニングポジションセレクターは、Front-Rに設定されます。(ただし、Front-Lに設定していたときだけは、Front-Lのままになります。)
- * サブウーファーを接続している場合、サブウーファー出力とリアハイパスフィルターの設定が調節されます。(サブウーファー出力をOFFにしても、自動的にONになり調節されます。)

Auto TA&EQの調節内容について

一度Auto TA&EQを行ったあとに、再度Auto TA&EQを行うと、前のAuto TA&EQの調節内容は消去されます。

オートタイムアライメント & イコライジングを行う

Auto TA&EQの設定

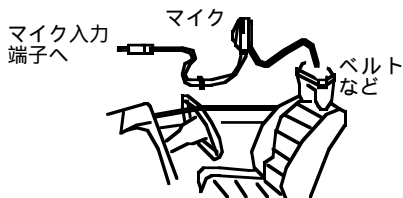
車室内の音響特性を自動的に計測して、車室内の音響特性を最適に自動補正することができます。

1 車の環境を整える

静かな所に車を停車させる
ドア、窓、サンルーフなどを閉める
車のエンジンを停止させる

2 マイクをセットする

ベルトなどを使用して、運転席のヘッドレストの中央に付属のマイクを前向きに固定する



ご注意

マイクの取付位置が悪いと、測定音が大きくなったり測定時間がかかったりして、車のバッテリーが上がる恐れがあります。マイクは必ず指定の位置に取り付けてください。

3 車のエンジンスイッチをACCまたはONにする

ご注意

車のエアコンやヒーターがONになっている場合は、OFFにしてください。エアコンやヒーターのファンの騒音によってAuto TA&EQが実行できないことがあります。

4 本機の電源を入れる

SOURCE ボタンを押す

5 乗車位置を決定する

リスニングポジションセレクターモードで、マイクをセットした座席を乗車位置に設定する (※ DSP 調節 80 ページ)

メモ

乗車位置をFront-RまたはFront-L以外に設定したときは、Auto TA&EQを始めると、強制的にFront-Rに再設定されます。

6 本機の電源を切る

SOURCE ボタンを押す
本機の電源が切れるまで、SOURCE ボタンを押します。

7 Auto TA&EQ 設定モードにする

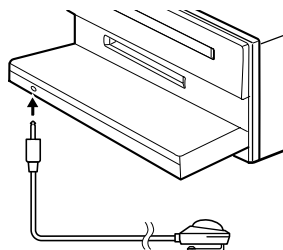
AUDIO ボタンを 2 秒以上押す



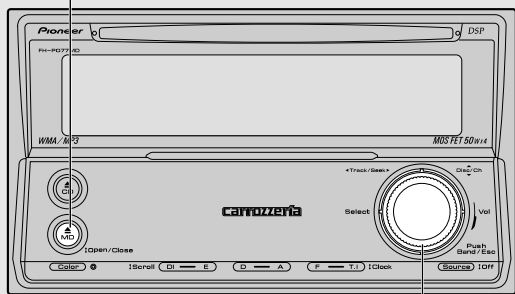
フロントパネルが自動的に開きます。

8 マイクを本機に接続する

付属のマイクをマイク入力端子に接続する



イジェクト
MD EJECT ボタン



ボリューム / セレクター

DSP 調節
12

オートタイムアライメント & イコライジングを行う

(つづき)

Auto TA&EQ の設定

9

Auto TA&EQ を始める

セレクターを上にも操作する
下にも操作すると中止します。

Auto TA&EQ が始まるまで点滅します



Auto TA&EQ が始まるまでの秒数が表示されます。

ご注意

セレクターを上にも操作して Auto TA&EQ を始めてから測定が終了するまでに、約 4 分かかります。測定時間は、周囲の騒音状態、車両形状、スピーカーの数などにより変わります。

10

車外に出る

10 秒のカウントダウンが始まるので、10 秒以内に車外に出て、ドアを閉める計測音 (ノイズ) が各スピーカーから出力され、Auto TA&EQ が始まります。

11

Auto TA&EQ が自動的に終了する



Auto TA&EQ 操作が終わったらセットしたマイクを取り外し、セレクターを押して電源を切り、MD EJECT ボタンを押してフロントパネルを元の位置に戻してください。



注意

フロントパネルの開閉動作中は、指などを挟まないようにご注意ください。
フロントパネルを開けたまま、走行しないでください。急ブレーキ時にフロントパネルに体が当たったりして、思わぬケガをする恐れがあります。

ご注意

MD EJECT ボタンを押す前に、マイクをマイク入力端子から取り外してください。マイクを接続したまま MD EJECT ボタンを押すと、警告音が鳴り、フロントパネルは閉まりません。

メモ

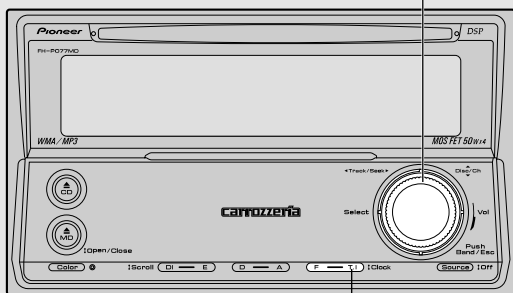
Auto TA&EQを途中でやめたいときはセレクターを押してください。強制的に解除して、電源がOFFになります。

マイクをセットする位置により、Auto TA&EQの調節内容が変わります。

お好みにより、助手席にセットすることもできます。

マイクはグローブボックスなどに、大切に保管してください。直射日光の当たる場所に長時間放置すると、高温による変形、変色、故障の原因になる恐れがあります。

ボリューム / セレクター



トラフィックインフォメーション
T.I ボタン

便利な機能

1

瞬時に音量を小さくする

アッテネーター

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音量を小さくすることができます。

1 瞬時に音量を小さくする

リモコンのATTボタンを押す
(☞ はじめに 9 ページ)

ボタンを押すごとにON/OFFします。



アッテネーターがONのときに点滅します。

アッテネーターがONのときは、音量が約1/10になります。

便利な機能

2

時計を表示させる

時計表示

本機の電源がONのとき、または電源がOFFでデモモード (☞ はじめに 13 ページ) を解除しているときに、時計を表示させることができます。

1 時計を選ぶ

T.I ボタンを 2 秒以上押す

ボタンを 2 秒以上押すごとにON/OFFします。



メモ

本体の電源がONの場合は、時計表示のときに他の操作をすると、時計表示は一度解除されますが、約25秒後にもとの表示に戻ります
時計を合わせるには (☞ 便利な機能 99 ページ)

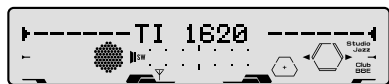
交通情報を受信する

トラフィックインフォメーション

AM 1,620 kHzまたは1,629 kHzの交通情報を、簡単に受信することができます。

1 交通情報を受信する

T.Iボタンを押す



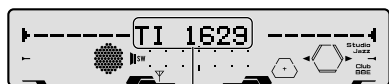
交通情報を受信します。

2 放送に合わせて周波数を切り換える

セレクターを左右に操作する

右：1,629 kHzにするとき

左：1,620 kHzにするとき



受信周波数

3 交通情報の受信をやめる

T.Iボタンを押す

交通情報を受信する前の状態に戻ります。

メモ

この機能は、電源がOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。

交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定することができます。交通情報を受信すると、SFC (DSP調節 88ページ) がOFFになり、イコライザーカーブは交通情報用になります。交通情報の受信をやめるとSFCおよびイコライザーカーブは、もとの状態に戻ります。

よく使う機能を直接操作する

ダイレクトファンクション

リモコンのDFボタンを押すと、よく使う機能をソースごとに直接操作することができます。内蔵CD・WMA/MP3/WAV・内蔵MD・マルチCDでポーズ、ラジオでBSM、テレビでBSSMを操作することができます。

内蔵CD・WMA/MP3/WAV・内蔵MD・マルチCDのとき

1 再生を一時停止する

リモコンのDFボタンを押す

(☞ はじめに 9ページ)

ボタンを押すごとに機能がON/OFFします。

(☞ 内蔵CD 33ページ、☞ WMA/MP3/WAV 41ページ、☞ 内蔵MD 50ページ、マルチCD 69ページ)

ラジオのとき

1 BSMを始める

リモコンのDFボタンを2秒以上押す

(☞ はじめに 9ページ)

BSMが始まります。

(☞ ラジオ 53ページ)

メモ

BSM中にリモコンのDFボタンを押すことで、BSMを途中解除することもできます。

テレビのとき

1 BSSMを始める

リモコンのDFボタンを2秒以上押す

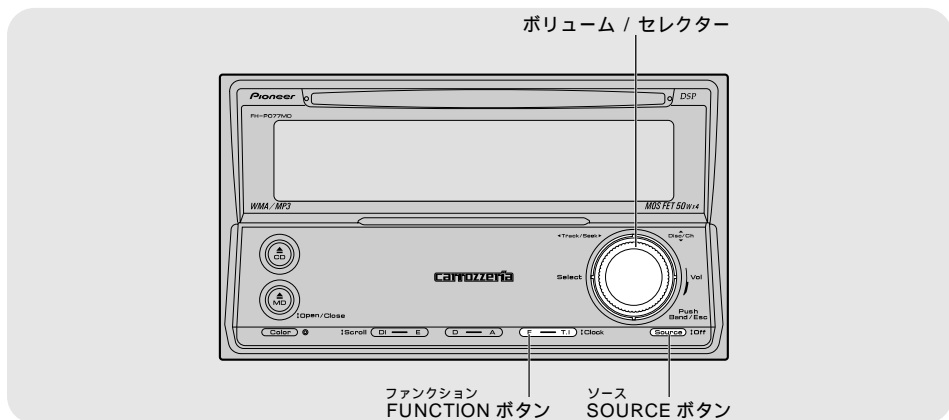
(☞ はじめに 9ページ)

BSSMが始まります。

(☞ テレビの取扱説明書)

メモ

BSSM中にリモコンのDFボタンを押すことで、BSSMを途中解除することもできます。



便利な機能

5

初期設定モードの切り換えかた

外部機器やディマーの設定をするときは、初期設定モードを切り換えて操作します。

1 電源を OFF にする

SOURCE ボタンを 1 秒以上押す
(☞ ここだけで ① 16 ページ)

コントラスト調節モード
(☞ 便利な機能⑩ 102 ページ)

RCA 外部出力モード
(☞ 便利な機能⑪ 103 ページ)

2 初期設定モードにする

電源が OFF のときに FUNCTION ボタンを 2 秒以上押す

デジタルアッテネーターモード
(☞ 便利な機能⑫ 103 ページ)

ミュート/アッテネートモード
(☞ 便利な機能⑬ 104 ページ)

3 初期設定モードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

時計調節モード
(☞ 便利な機能④)

AUX (外部機器) モード
(☞ 便利な機能⑦ 100 ページ)

ディマーモード
(☞ 便利な機能⑨ 101 ページ)

エバースクロール設定モード
(☞ 便利な機能⑭ 105 ページ)

時計調節モードに戻る

メモ

初期設定モードを解除するには、セレクターを押します。(解除すると、電源が OFF になります。)

時計を合わせることができます。

1 時計調節モードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ

(便利な機能⑤)



2 時計の設定をする

時、分を選ぶ

セレクターを左右に操作する



操作することにより時、分が切り換わります。

時刻を合わせる

セレクターを上下に操作する

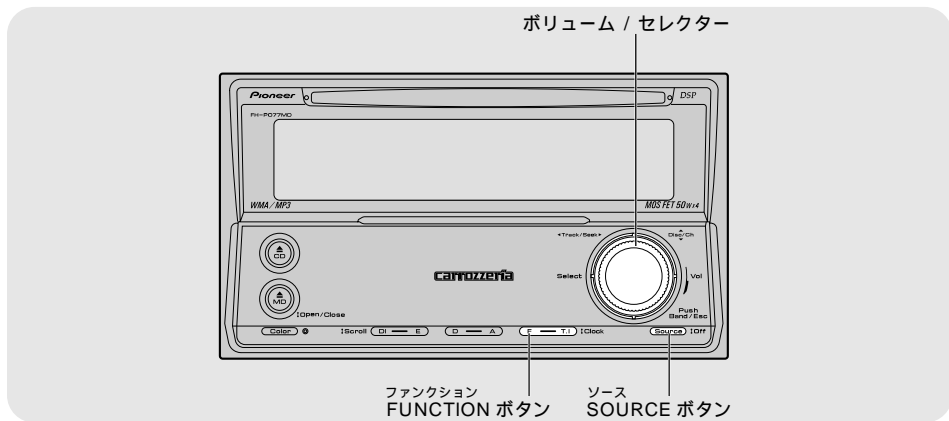
上：時刻を進めるとき

下：時刻を戻すとき



時または分を調節すると、0秒からカウントが始まります。

セレクターを押して、初期設定モードを解除してください。



便利な機能 7 外部機器の音声を聞く

AUX (外部機器) の設定

本機にDATやVTRなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

外部機器との接続について

別売のRCA/IP-BUSインターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA出力のあるDATやVTRを、外部機器として本機に接続することができます。詳しくは、RCA/IP-BUSインターコネクターの説明書をご覧ください。

1 AUX (外部機器) モードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ

(☞ 便利な機能 98 ページ)



2 AUX (外部機器) の設定をONにする

セレクターを上にも操作する (下でOFF)



セレクターを押して、初期設定モードを解除してください。

3 ソースをAUXにする

SOURCEボタンを押す

(☞ ここだけで 16 ページ)



ソースをAUXに切り換えると、外部機器の音声が出力されます。

外部機器の名称を入力する

AUX (外部機器) の名称設定

接続した外部機器の名称を入力することができます。

1 ソースを AUX にする

SOURCE ボタンを押す

(☞ ここだけで① 16 ページ)



2 外部機器の名称入力モードにする

FUNCTION ボタンを 2 秒以上押す



約 2 秒間表示されます。

3 外部機器の名称を入力し、記憶させる

CD タイトル入力の手順 3 ~ 5 を参照し、同様の操作で外部機器の名称を記憶させてください。(☞ マルチ CD ① 66 ページ)

例) “ DAT ” を入力した場合



“ AUX ” の表示のかわりに、入力した名称が表示されます。

夜間のディスプレイの明るさを切り換える

ディマー

夜間、周囲が暗くなったときにディスプレイがまぶしくならないように、車のライトを ON にするとディマーが働き、ディスプレイが暗くなるように設定できます。

1 ディマーモードにする

電源が OFF のときに FUNCTION ボタンを 2 秒以上押ししてから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ 便利な機能⑤ 98 ページ)

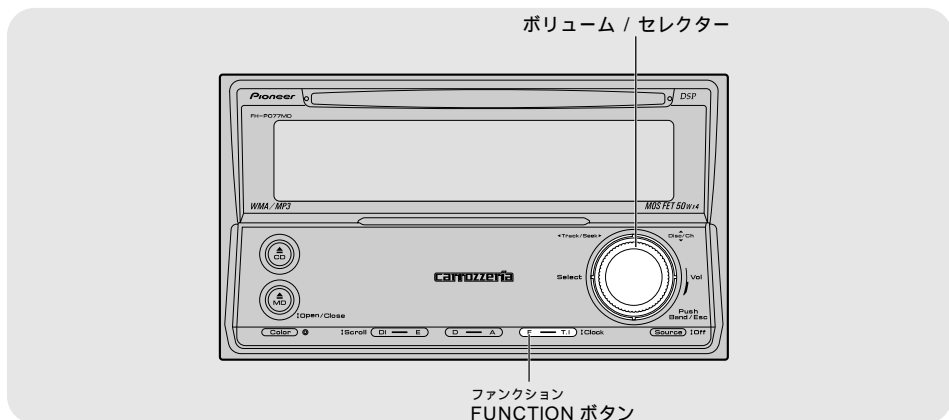


2 ディマーの設定を ON にする

セレクターを上にも操作する (下で OFF)



セレクターを押して、初期設定モードを解除してください。



便利な機能 10 ディスプレイの明暗を切り換える

コントラスト

ディスプレイの明暗を、お好みに合わせて切り換えることができます。

1 コントラスト調節モードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ

(便利な機能 98 ページ)



2 設定を選ぶ

セレクターを左右にする

右：2を選ぶとき

(明暗の差を小さくするとき)

左：1を選ぶとき

(明暗の差をはっきりさせるとき)



セレクターを押して、初期設定モードを解除してください。

RCA 外部出力から出力される信号を選ぶ

外部出力

本機のRCA外部出力に外部アンプを接続した場合、外部アンプに接続するスピーカーに合わせてこの設定を切り換えます。

1 RCA 外部出力モードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ

(☞ 便利な機能⑤ 98ページ)



2 接続するスピーカーに合わせて選択する

セレクトターを左右に操作する

右：リアスピーカー (Rear) を接続するとき
左：サブウーファー (S/W) を接続するとき



セレクトターを押して、初期設定モードを解除してください。

メモ

リアスピーカーに設定したときは、サブウーファーの調節 (☞ 音の調節④ 74ページ) はできません。

音の歪みを補正する

デジタルアッテネーター

イコライザーカーブの設定 (☞ DSP 調節④ 83ページ) による音の歪みをなくすことができます。

デジタルアッテネーターについて

イコライザーカーブの設定でレベルを高く設定した周波数の音域が歪むことがあります。イコライザーカーブの設定で音が歪んだように感じたときは、デジタルアッテネーターの設定をLOWに切り換えてください。

1 デジタルアッテネーターモードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ

(☞ 便利な機能⑤ 98ページ)



2 設定を選ぶ

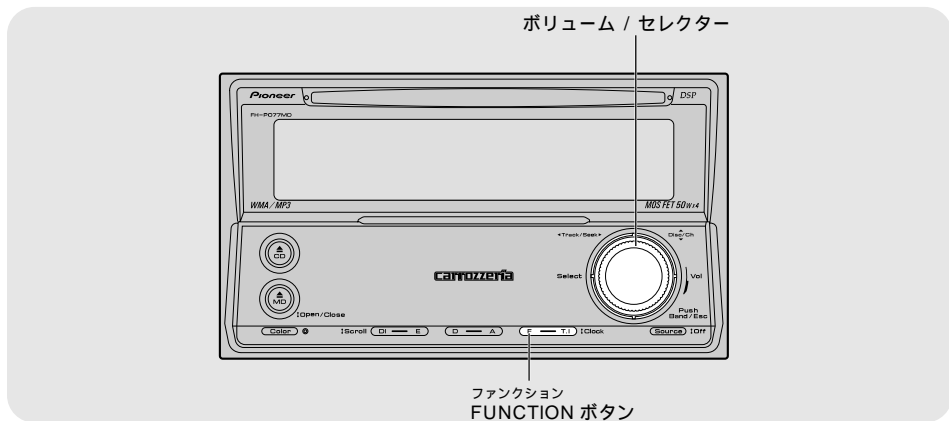
セレクトターを左右に操作する

右：HI を選ぶとき

左：LOW を選ぶとき



セレクトターを押して、初期設定モードを解除してください。



便利な機能
13

ミュート/アッテネートを切り換える

ミュート / アッテネート設定

ミュート機能のある製品からミュート信号を受け取ったときに、本機の音声をミュートするかアッテネートするかを選ぶことができます。

ミュート/アッテネート機能について

ミュート機能のある製品（バイオニア製ナビゲーションシステムなど）と本機を組み合わせると、その製品からミュート信号を受け取っているときだけ、ミュートまたはアッテネート機能が働きます。ミュート信号を受け取っているときの各設定の音量は、次のようになります。

- Mute : 音量 “0”
- 10dB ATT : もとの音量の約 1/3
- 20dB ATT : もとの音量の約 1/10

ミュートまたはアッテネート機能が解除されると、自動的にもとの音量に戻ります。

2 設定を選ぶ

セレクターを左右に操作する



Mute、10dB ATT、20dB ATT の中から選ぶことができます。

セレクターを押して、初期設定モードを解除してください。

1 ミュート/アッテネートモードにする

電源が OFF のときに FUNCTION ボタンを 2 秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(便利な機能 98 ページ)



CD タイトルなどの スクロールのしかたを切り換える

エバースクロール設定

エバースクロール機能をONにすると、CDのタイトルなどを繰り返しスクロールさせることができます。一度だけスクロールさせたいときは、この機能をOFFにしてください。(初期設定ではOFFになっています。)

1 エバースクロール設定 モードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ

(▶ 便利な機能 98ページ)

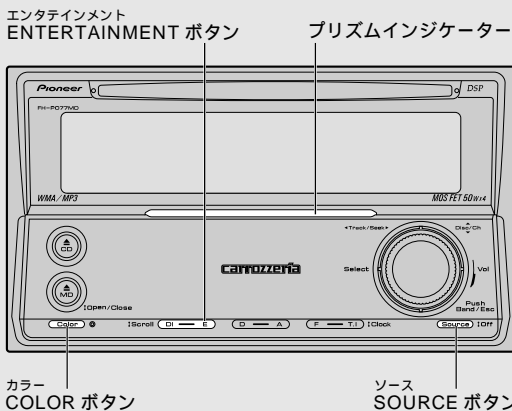


2 エバースクロールの設定を ONにする

セレクターを上にもしくは下にも操作する (下でOFF)



セレクターを押して、初期設定モードを解除してください。



便利な機能
15

エンタテインメント表示を切り換える

エンタテインメント表示

各ソースを聞いているときに、エンタテインメントディスプレイの表示を切り換えることで、いろいろな表示を楽しむことができます。

1 聞きたいソースを選ぶ

SOURCE ボタンを押す

(ここだけで① 16 ページ)

スピーカーから音が出力されている状態にします。

エンタテインメント表示 3

エンタテインメント表示 4

エンタテインメント表示 5

ASL 効果量表示

2 エンタテインメント表示を切り換える

ENTERTAINMENT ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

通常表示

スペクトラムアナライザー 1

スペクトラムアナライザー 2

レベルインジケーター 1

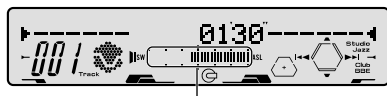
レベルインジケーター 2

エンタテインメント表示 1

エンタテインメント表示 2

通常表示に戻る

ASL 効果量表示について



ASL のレベルに応じて、バーの数が右から左に向かって増えます。ASL については (DSP 調節⑩ 90 ページ)

プリズムインジケーター の色を切り換える

カラー切り換え

プリズムインジケーターの色を変えることができます。

1 プリズムインジケーター モードにする

COLOR ボタンを押す

2 プリズムインジケーター の色を変える

COLOR ボタンを押して選ぶ
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

Mirage (初期状態) ¹

WhiteBlue

OceanBlue

DeepBlue

Aqua-M (Aquamarine)

L.Green (LeafGreen)

P.Yellow (PureYellow)

PaleOrng (PaleOrange)

CyberRed

ActivePink

C.Violet (CoolViolet)

Rainbow ²

Mirageに戻る

メモ

¹WhiteBlue ~ DeepBlueを順に切り換えて表示します。

²5秒おきにWhiteBlue ~ C.Violetを順に切り換えて表示します。

CDの正しい使いかた

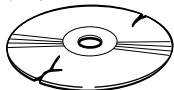
使用できるCDについて

下記マークの付いているコンパクトディスク(光学式デジタルオーディオディスク)をご使用ください。

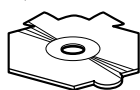


本機は音楽CD規格に準拠して設計されています。コピーコントロールCDなどのCD規格外ディスクの動作保証及び性能保証は致しかねます。

ひび、キズ、そのあるCDは使用しないでください。



特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



音楽用CDレコーダーまたはパソコンで記録したCD-R/CD-RWディスクは、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。

パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定および環境によって再生できないことがあります。(詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください。)

直射日光や高温等、車内での保管状況により、CD-R/CD-RWディスクは再生できなくなる場合があります。

CD-R/CD-RWディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、本機では表示されない場合があります。(音楽データ(CD-DA)再生時)

本機はCD-R/CD-RWディスクのトラックスキップ機能に対応しています。スキップ指定された曲を飛ばして再生します。(音楽データ(CD-DA)再生時)

ファイナライズされていないCD-R/CD-RWディスクには対応していません。

CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。

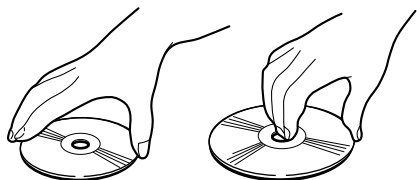
CD-R/CD-RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

メモ

製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

取り扱い上のご注意

CDは、下図のように、信号記録面(虹色に光っている面)をさわらないように持ってください。



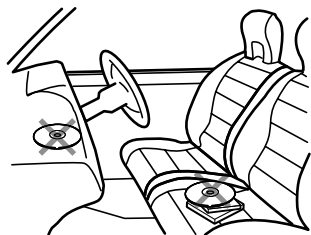
CDにキズを付けないでください。

CDにシールなどを貼り付けしないでください。



保管上のご注意

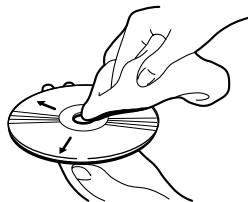
直射日光の当たるところや高温になるところには、CDを保管しないでください。



CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

お手入れについて

CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布でCDの内周から外周方向へ軽くふいてください。



アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



CD再生の環境について

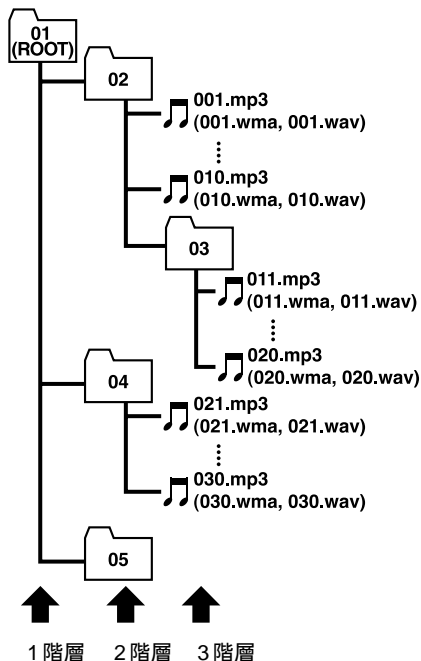
走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。

寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。CDに付いた露は柔らかい布でふいてください。

フォルダーとWMA/MP3/WAV ファイルについて

WMA、MP3およびWAVファイルを収録したCD-R/CD-RW/CD-ROMのイメージは下図のようになります。



本機はWMA、MP3およびWAVファイルが記録されたCD-R/CD-RW/CD-ROMの再生に対応しています。ISO9660のレベル1、レベル2、および拡張フォーマット (Joliet、Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。(※ その他⑦ 120ページ)

本機はマルチセッション (※ その他⑦ 120ページ) 方式で記録したディスクの再生に対応しています。

バケットライト (※ その他⑦ 120ページ) には対応していません。

m3u (※ その他⑦ 121ページ) のプレイリストには対応していません。

MP3i (MP3 interactive) フォーマット、およびMP3 PROフォーマットには対応していません。

ファイル名の最大表示文字数は、拡張子 (.mp3、.wma、.wav) を含めて64文字です。また、フォルダー名の最大表示文字数は64文字です。

拡張フォーマット (Romeo、Joliet) (※ その他⑦ 120ページ) に準拠して記録されたファイルの場合、先頭から64文字までの表示に対応しています。

再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。

メモ

フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。

CD-R、CD-RW、CD-EXTRA、MIXED-MODE CDディスクにWMA/MP3/WAVファイルと、音楽データ (CD-DA) が混在しているときは、WMA/MP3/WAVファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り換えることができます (※ ここだけで④ 21ページ)。WMA/MP3/WAVファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り換えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。

WMA、MP3およびWAVファイルを含まないフォルダーは認識しません。(フォルダー番号の表示をせず、スキップします。)

8階層までのWMA、MP3およびWAVファイルの再生に対応していますが、多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を2つ以下にすることをおすすめします。

ディスクに含まれるフォルダーの合計が99個まで再生可能です。

WMA とは？

「Windows Media™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media Player Ver.7 以降を使用してエンコードすることができます。(☞ その他 ⑦ 121 ページ)

ご注意

WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

再生できる WMA ファイルについて

ご注意

WMA ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.wma) を付けてください。
本機は、拡張子 (.wma) が付いているファイルを WMA ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMA ファイル以外には拡張子 (.wma) を付けないでください。
本機では、Windows Media Player Ver.7 / 7.1 / 8 / 9 を使用してエンコードした WMA ファイルを再生することができます。

再生可能な WMA ファイルのサンプリング周波数は 32/44.1/48 kHz です。

一般的に WMA ファイルは、ビットレート (☞ その他 ⑦ 120 ページ) が高いほど音質は良くなります。本機は、CBR (固定ビットレート) 時は、48kbps ~ 320kbps、VBR (可変ビットレート) 時は、48kbps ~ 384kbps の WMA ファイルの再生に対応していますが、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

デジタル著作権保護 (DRM) で保護されたファイルを再生したときは、“SKIPPED” と表示され、そのファイルの再生がスキップされます。

ディスク内のすべてのファイルがデジタル著作権保護 (DRM) で保護されている場合は、“PROTECT” と表示され、そのディスクの再生はできません。

Windows Media Audio 9 Professional (5.1ch)、Windows Media Audio 9 Lossless および Windows Media Audio 9 Voice には対応していません。

MP3 とは？

MPEG Audio Layer 3の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

(☞ その他 ⑦ 121 ページ)

再生できる MP3 ファイルについて

ご注意

MP3 ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.mp3) を付けてください。

本機は、拡張子 (.mp3) が付いているファイルを MP3 ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3 ファイル以外には拡張子 (.mp3) を付けないでください。

ID3 Tag (☞ その他 ⑦ 120 ページ) の Ver1.0、1.1、2.2、2.3 および 2.4 のアルバム名 (ALBUM として表示)、曲名 (TRK TTL として表示)、アーティスト名 (TRK ART として表示) の表示に対応しています。なお、ID3 Tag の Ver1.X と Ver 2.X が混在している場合は、Ver 2.X が優先されます。32/44.1/48 kHz の MP3 ファイルを再生している場合のみエンファシスに対応しています。(なお、再生可能なサンプリング周波数は 16/22.05/24/32/44.1/48 kHz です。)

一般的に MP3 ファイルは、ビットレート (☞ その他 ⑦ 120 ページ) が高いほど音質は良くなります。本機は、8kbps ~ 320kbps の MP3 ファイルの再生に対応していますが、ある一定の音質で音楽を楽しんでいたくためには、128kbps 以上のビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

WAV とは？

Waveformの略で、Windows®での標準音声フォーマットです。

(☞ その他 ⑦ 121 ページ)

再生できる WAV ファイルについて

ご注意

WAV ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.wav) を付けてください。

本機は、拡張子 (.wav) が付いているファイルを WAV ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WAV ファイル以外には拡張子 (.wav) を付けないでください。

本機は、LPCM 形式および MS ADPCM 形式でエンコードされた WAV ファイルの再生に対応しています。

本機は、LPCM 形式では 16/22.05/27/32/44.1/48 kHz、MS ADPCM 形式では 22.05/44.1 kHz のサンプリング周波数で記録されたファイルの再生に対応しています。サンプリング周波数の、全ての桁は表示されることがあります。

一般的に WAV ファイルは、量子化ビット数 (☞ その他 ⑦ 120 ページ) が高いほど音質は良くなります。本機は、LPCM 時は 8/16 bit、MS ADPCM 時は 4 bit の量子化ビット数での再生に対応していますが、ある一定の音質で音楽を楽しんで頂くためには、できるだけ高い量子化ビット数で記録されたディスクの使用を推奨します。

MDの正しい使いかた

使用できるMDについて

下記マークの付いているMD(ミニディスク)をご使用ください。



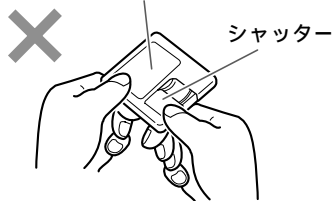
音楽用以外のMDは使用しないでください。故障の原因になります。

取り扱い上のご注意

MDのシャッターを手であけないでください。無理にあけるとこわれることがあります。

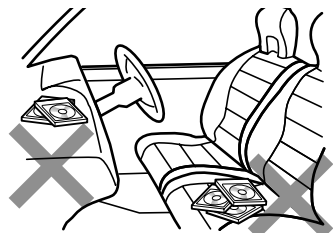
カートリッジ

シャッター



保管上のご注意

MDは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。



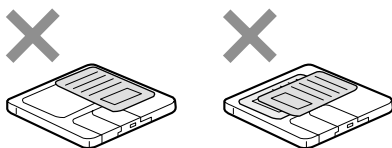
寒いときの結露について

寒いとき、ヒーターを入れた直後にMDの再生を始めると、本機内部の光学系レンズやMDに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。

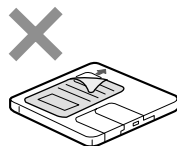
このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。MDのカートリッジ表面に付いた露は柔らかい布で拭いてください。

ラベルについて

MDに付属のラベルは、必ず指定の位置に貼ってください。指定以外の位置に貼ったり、2枚重ねて貼ったりすると、MDが取り出せなくなることがあります。



ラベルがめくれたり、浮いたりしたMDは使用しないでください。ラベルが引っかかり、MDが取り出せなくなります。このようなMDは新しいラベルに貼り換えてからお使いください。



お手入れについて

MDのカートリッジ表面が汚れたときは、柔らかいきれいな布で軽く拭いてください。

MDにベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



MD用クリーニングディスクを使用するときは、クリーニングディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。クリーニングディスクによっては製品の故障の原因になる場合があります。

故障かな?と思ったら

故障かな?と
思ったら
修理を依頼される前に、
次の表の内容をチェック
してください。

チェックしても
直らないときは
本機をリセットしてくだ
さい。(☞ はじめに④ 14
ページ)

それでも
直らないときは
「保証書とアフターサー
ビス」(☞ その他⑥ 119
ページ)をお読みになり、
修理を依頼してください。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが 正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、 もう一度確認してください。 (☞ 取付説明書)
	ヒューズが切れている	ヒューズが切れた原因を解決し、切れた ヒューズを同じ容量のものと同交換してく ださい。(☞ 取付説明書)
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げています。	音量を上げてください。 (☞ ここだけで②③④⑤⑥ 19、21、23、25、27ページ)
	アッテネーターがONに なっている。	アッテネーターを解除してください。 (☞ 便利な機能① 96ページ)
	前後の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節② 73ページ)
前または後ろのスピーカー から音が出ない。	前後の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節② 73ページ)
左または右のスピーカーか ら音が出ない。	左右の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節② 73ページ)

CD、WMA/MP3/WAV

症 状	原 因	処 置
CD再生中、大きな雑音が出る。 CDの再生が途中で止まる。	CDに大きなキズやそりが ある。	他のCDと交換してください。良くなればCDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。 (☞ その他① 109ページ)
	CDに曇りや水滴が付いて いる。	CDの曇りや水滴をふき取ってください。 (☞ その他① 109ページ)
	CDの裏表を逆にしてセッ トしている。	CDのタイトル面を上にしてセットして ください。 (☞ ここだけで②③ 18、20ページ)

MD

症 状	原 因	処 置
MD再生中、大きな雑音が出る。 MDの再生が途中で止まる。 MDが自動的に出てくる。	MDが極端に汚れている。	MDを交換してください。
	MDに曇りや水滴が付いて いる。	
	MDが正しい方向に挿入さ れていない。	MDを取り出し、正しい方向に挿入して ください。(☞ ここだけで④ 22ページ)

ラジオ

症 状	原 因	処 置
ラジオの受信中、“ジー ジー、ザーザー”という雑 音が多い。	放送局の周波数が合ってい ない。	周波数を正しく合わせてください。 (☞ ここだけで⑤ 25ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (☞ ここだけで⑤ 25ページ)
	周りに障害物があるなど、 受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくな ります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 (☞ ここだけで⑤ 25ページ)

こんなメッセージが表示されたら

CD、WMA/MP3/WAVのエラー表示

CD、MP3を正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「ERROR-11」「ERROR-12」 「ERROR-17」「ERROR-30」	CDが汚れているとき。	CDの汚れをふき取ってください。 (その他① 109ページ)
	CDにキズやひびがあるとき。	CDを交換してください。
「ERROR-12」「ERROR-14」 「ERROR-17」	CD-R/CD-RWを録音しないまま使用しているとき。	CD-R/CD-RWは、録音してからお使いください。
「ERROR-22」「ERROR-23」	再生できないフォーマットのCD-ROMを挿入したとき。	CDを交換してください。
「ERROR-10」「ERROR-11」 「ERROR-12」「ERROR-17」 「ERROR-30」「ERROR-50」 「ERROR-A0」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、CD再生を一度やめてから、もう一度CD再生にしてください。
「ERROR-44」	すべての曲がトラックスキップ指定されているとき。	CDを交換してください。
「NO AUDIO」	何も録音されていないCD-ROMを挿入したとき。	WMA/MP3/WAVファイルの記録されているCD-ROMと交換してください。
「SKIPPED」	デジタル著作権保護 (DRM) で保護されたWMAファイルを再生したとき。	デジタル著作権保護 (DRM) で保護されていないファイルを再生してください。
「PROTECT」	ディスク内の全てのファイルがデジタル著作権保護 (DRM) で保護されているとき。	ディスクを交換してください。

メモ

マルチCD再生中に、上記以外のエラーメッセージが表示されたときは、マルチCDの取扱説明書をご覧ください。

MDのエラー表示

MDを正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「TEMP」	本機の内部温度に異常があるとき。	本機が正常に動作する温度になるまでお待ちください。
「ERROR-11」「ERROR-12」「ERROR-17」「ERROR-30」	MDが汚れているとき。 MDにキズやひびがあるとき。	他のMDと交換してください。
「ERROR-20」「ERROR-21」	振動などが原因で曲の情報を読み取れなかったとき。 MDに異常(損傷している、TOCが入っていないなど)があるとき。	MDを取り出し、もう一度入れ直してください。それでも同じメッセージが表示される場合は、他のMDと交換してください。
「ERROR-22」「ERROR-24」	MDに異常(損傷している、TOCが入っていないなど)があるとき。	他のMDと交換してください。
「ERROR-23」	音楽以外の情報が記録されたMDを使用したとき。	音楽が録音されたMDを使用してください。
「ERROR-01」「ERROR-11」「ERROR-12」「ERROR-17」「ERROR-30」「ERROR-A0」	本機の電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、MD再生を一度やめて、もう一度MD再生にしてください。
「ERROR-A1」	本機の電気系、機構系の故障が考えられるとき。	MD再生を一度やめて、リセットボタンを押して (E3 はじめに④ 14 ページ) もう一度MD再生にしてください。
「ERROR」	MDが何らかの原因で再生しないとき。	他のMDと交換してください。 リセットボタンを押してください。(E3 はじめに④ 14 ページ)
「Blank MD」	何も録音されていないMDを挿入したとき。	他のMDと交換してください。

TOCについて

TOC (Table Of Contents) とは、CD・MD・DATなどに収録されている曲数、演奏時間、タイトルなどの音声信号以外の情報のことです。

こんなメッセージが表示されたら (つづき)

オートコライジングのエラー表示

オートコライジングが正常に実行できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示される時	処 置
「Mic Err」	マイクが接続されていない。	付属のマイクをきちんと差し込んでください。(取付説明書 93 ページ)
「FLSP Err」「FRSP Err」 「F-SP Err」「SubW Err」 「RLSP Err」「RRSP Err」	スピーカーの計測音がマイクで拾えない。	ソースを切り換えて、スピーカーから音が出るか確認してください。音が出ない場合は、スピーカーリード線の接続を確認してください。(取付説明書)
		付属のマイクを正しくセットしてください。
「Noise Err」	周囲の騒音レベルが高すぎる。	なるべく静かな所に車を停車し、車のエンジン、およびエアコンやヒーターを止めてください。
		付属のマイクを正しくセットしてください。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

バケットライト

フロッピーやハードディスクと同じように、必要なファイルを必要な時点で、CD-Rなどに書き込む方式の総称です。

ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps (bit per second) です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式 (MP3 など) での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音となります。(MP3とWMAのように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

マルチセッション

マルチセッションは、データの追加ができる記録方式です。CD-ROMやCD-R、CD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめた単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リニアPCM (LPCM)

音楽CDに用いられている信号記録方式で、Linear Pulse Code Modulationの略です。音楽CDでは、44.1 kHz/16 bitで記録されています。

量子化ビット数

量子化ビット数は、音質を定義する要素の1つで、量子化ビット数が大きいほど、音質は良くなります。しかし、量子化ビット数が大きくなるほどデータサイズが大きくなるため、より多くの記憶容量が必要となります。

ID3 Tag

曲の関連情報をMP3ファイルの中に埋め込む方式です。埋め込むことのできる情報には、曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、製作年、コメントなどがあります。この内容はID3 Tag編集機能のあるソフトを利用して自由に編集ができます。通常は文字数などに制限がありますが、曲の再生時に情報を見ることができるようになっています。

ISO9660 フォーマット

CD-ROMのファイルおよびフォルダーに関する論理フォーマットの国際基準です。ISO9660フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

レベル1：

ファイル名は、8.3形式 (名前は半角英文大文字と半角数字、“_”で8文字以下、拡張子は3文字)

レベル2：

ファイル名は、最大31文字 (区切り文字、“.”と拡張子を含む) で、各フォルダーの階層は8つ以下

拡張フォーマット

Joliet：

ファイル名は、最大で64文字

Romeo：

ファイル名は、最大で128文字

m3u

プレイリストファイルの拡張子(.m3u)で、「WINAMP」というソフトで作成したプレイリストに付きます。

MP3 (エムピーブスリー)

「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO(国際標準化機構)のワーキンググループ(MPEG)の定めた音声圧縮の規格です。MP3は、音声データを元のデータの約1/10のサイズに圧縮することができます。

MS ADPCM

「Microsoft adaptive differential pulse code modulation」の略で、米国Microsoft Corporationのマルチメディア・ソフトウェアで使用される信号記録方式です。

VBR (ブイビーアール)

「Variable Bit Rate(可変ビットレート)」の略です。一般的にはCBR(固定ビットレート)が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変にすることで、音質を優先した圧縮が可能となります。

WAV

「Waveform」の略で、Windows®での標準音声フォーマットです。

WMA (ダブルユーエムエー)

「Windows Media™ Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。

Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

アンプ・オーディオ部

最大出力 : 50 W × 4
 定格出力 : 22 W × 4
 (50 ~ 15,000 Hz、5 % THD)

13バンド

イコライザー

周波数 : 50 Hz、80 Hz、125 Hz、
 200 Hz、315 Hz、500 Hz、
 800 Hz、1.25 kHz、2 kHz、
 3.15 kHz、5 kHz、8 kHz、
 12.5 kHz

13バンド

イコライザー

調整幅 : ± 12 dB

ネットワーク

ハイパス

フィルター : 周波数 : 50/63/80/100/
 125/160/200 Hz
 スロープ : 0 dB/oct.、
 - 6 dB/oct.、
 - 12 dB/oct.

調整幅 : - 24 dB ~ + 0 dB

サブウーファー

出力 : 周波数 : 50/63/80/100/
 125/160/200 Hz
 スロープ : - 6 dB/oct.、
 - 12 dB/oct.、
 - 18 dB/oct.

調整幅 : - 24 dB ~ + 6 dB

位相 : NOR (正相)/REV (逆相)

ラウドネス

コンター : 10 dB (100 Hz)、
 7 dB (10 kHz)
 (ボリューム : - 30 dB)

負荷

インピーダンス : 4 (4 ~ 8 使用可能)

プリアウト

最大出力レベル : 1.8 V

出力インピー

ダンス : 1 k

CD プレーヤー部

形式 : コンパクトディスク
 オーディオシステム

使用ディスク : コンパクトディスク
 信号

フォーマット : サンプリング周波数 : 44.1 kHz
 量子化ビット数 : 16ビット直線

周波数特性 : 5 ~ 20,000 Hz (± 1 dB)

S/N : 94 dB (1 kHz)
 (IHF-A ネットワーク)

ダイナミック

レンジ : 92 dB (1 kHz)

チャンネル数 : 2 (ステレオ)

MP3

デコーディング

フォーマット : MPEG-1 & 2 Audio Layer-3

WMA

デコーディング

フォーマット : Ver 7、7.1、8、9

WAV

シグナル

フォーマット : Linear-PCM、MS ADPCM

MD プレーヤー部

形式 : ミニディスクデジタル
 オーディオシステム

使用ディスク : ミニディスク
 信号

フォーマット : サンプリング周波数 : 44.1 kHz
 量子化ビット数 : 16ビット直線

周波数特性 : 20 ~ 20,000 Hz (± 1 dB)

S/N : 90 dB (1 kHz)
 (IHF-A ネットワーク)

ダイナミック

レンジ : 90 dB (1 kHz)

チャンネル数 : 2 (ステレオ)

FM チューナー部

受信周波数帯域 : 76.1 ~ 89.9 MHz
実用感度 : 8 dBf (0.7 μ V/75 、
モノラル、S/N : 30 dB)
S / N 50 dB
感度 : 10 dBf
(0.9 μ V/75 、モノラル)
S / N : 75 dB (IHF-A ネットワーク)
高調波歪率 : 0.3 %
(65 dBf 入力、1 kHz、ステレオ)
0.1 %
(65 dBf 入力、1 kHz、モノラル)
周波数特性 : 30 ~ 15,000 Hz (\pm 3 dB)
ステレオ
セパレーション : 45 dB (65 dBf 入力、1 kHz)

AM チューナー部

受信周波数帯域 : 522 ~ 1,629 kHz (9 kHz)
実用感度 : 18 μ V (S/N : 20 dB)
S / N : 65 dB (IHF-A ネットワーク)

共通部

使用電源 : DC 14.4 V
(10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式 : マイナスアース方式
最大消費電流 : 10.0 A
外形寸法
(取付寸法) : 178 (W) \times 100 (H) \times
161 (D) mm
(ノーズ寸法) : 169 (W) \times 94 (H) \times 28 (D) mm
質量 : 2.2 kg (コードユニット含まず)

付属品

リモコン : 1
リチウム電池
(CR2025) : 1
コードユニット : 1
マイク : 1
取付ネジ類 : 1 式
取扱説明書 : 1
取付説明書 : 1
接続・取り付け
時のご注意 : 1
安全上のご注意 : 1
保証書 : 1
ご相談窓口・
修理窓口のご案内 : 1

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

パイオニア製品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店へお問い合わせください。なお、修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかがご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

ホームページ

商品に関する「よくあるお問い合わせ」FAQのご案内 <http://www.pioneer.co.jp/support/faq/index.html>

< 下記窓口へのお問い合わせ時のご注意 >

市外局番「0070」で始まる ☎ フリーフォン、および「0120」で始まる ☎ フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからはご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付 月曜～金曜 9:30～17:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

カーオーディオ/カーナビゲーション製品のご相談窓口 : ☎ **0070-800-8181-11**
: 【一般電話】 **03-5496-8016**

家庭用オーディオ/ビジュアル製品
(PDP・DVDなど)のご相談窓口 : ☎ **0070-800-8181-22**
カタログのご請求窓口 : ☎ **0070-800-8181-33**

カタログ請求とメールサービス登録のご案内 <http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html>
ファックス受付 : **03-3490-5718**

部品のご購入についてのご相談窓口

部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入については、部品受注センターにご相談ください。

部品受注センター

受付 月曜～金曜 9:30～17:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

電話 : ☎ **0120-5-81095**
: 【一般電話】 **0538-43-1161**
ファックス : ☎ **0120-5-81096**

修理についてのご相談窓口

お買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、下記の修理受付センターへ（沖縄の方は、沖縄サービスステーションへ）

修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付 月曜～金曜 9:30～17:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）
日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00（プラズマテレビのみ受付）

電話 : ☎ **0120-5-81028**
: 【一般電話】 **03-5496-2023**
ファックス : ☎ **0120-5-81029**

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話 : 【一般電話】 **098-879-1910**
ファックス : **098-879-1352**

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

© パイオニア株式会社 2003

< KMIZX > < 03K00001 > < CZR2969-A >